

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

日本財団御中

海と日本プロジェクトin佐賀県 実施報告書

2020年3月31日

海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1.推進パートナー登録・連携事例

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(1) 推進パートナー登録企業・団体リスト

| No. | 企業・団体名 | 代表者 |
|-----|--------------|-------|
| 1 | さが維新まつり運営事務局 | 鈴田剛大 |
| 2 | トワール | 釘本絵梨子 |
| 3 | ウエダノリュキデザイン | 上田法之 |
| 4 | 夢咲屋 | 河井澄 |
| 5 | 呑み処 色葉 | 池田美由紀 |
| 6 | 大道印刷株式会社 | 納富 |
| 7 | 医療法人 長晴会 | 久原裕介 |
| 8 | K1貨物 | 阿部恵一 |
| 9 | 小柳印刷 | 小柳信夫 |
| 10 | 大神 | 井上功 |
| 11 | EMION | 牟田弘大 |
| 12 | 広瀬百貨電気部 | 廣瀬隆章 |
| 13 | 唐津市立 小川小学校 | 小嶋貴之 |
| 14 | 唐津市立 小川中学校 | 小嶋貴之 |
| 15 | 広瀬百貨酒部 | 廣瀬卓生 |
| 16 | みんなの海プロジェクト | 百武あかね |
| 17 | Recover | 清水玲央 |
| 18 | home | 諸泉哲朗 |
| 19 | ゆう建Home | 碓祐哉 |
| 20 | マルマ | 北島正登 |

1-(2) 推進パートナーとの連携事例

| 項目 | 内容 |
|-----------------------------------|--|
| 企画名称 | 佐賀さいこうフェス |
| 連携先名および 連携先の事業内容 | 連携先名:佐賀県 事業内容:ブース出展し、広報活動 大企業or上場企業:× |
| 連携先が海プロに 賛同した理由や エリア事務局との関係 | 今年から森川海人というキャラクターを作るなど、 海と川と森がつながっていることを県としても アピールし、そういう活動に力を入れている。 |
| 連携内容 | ブースを出展し、横断幕の掲示、応援動画映像を流した。 大画面ビジョンで海ごみ対策のプロジェクト訴求映像 を流しPR。また、有明海の生き物に触れる タッチプールも実施した。 |
| 対象者の属性および 規模、物量 | 家族連れなど約5万人 |
| 実施期間 | 2019/10/19～2019/10/20 |
| 事業場所 | 佐賀市の城内公園付近 |
| ロゴ掲出/PJ名発信 | 横断幕などでロゴの掲示、またステージ横の 大画面ビジョンで、海ごみ対策のプロジェクト 訴求映像を流しPR |
| 情報深度 | 委員長でもあり、有明海の専門家でもある藤井教授に 訪れた親子などに対し、海プロの趣旨説明や 佐賀事務局の取り組みなどを紹介。 |
| 体験 | 事務局メンバーと委員長がブースで、質問など答えられるように。また、 タッチプールを用意し、有明海の生き物に触れる機会を設け、関心高 めた。 |
| 情報発信力 (ニュースサイト、テレビ放送) | ニュースサイト、海応援動画でテレビ放送 |

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例



ゴミが落ちていない水のきれいな海がいい

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例

| 項目 | 内容 |
|-----------------------------------|---|
| 企画名称 | オリジナル海鮮丼販売 |
| 連携先名および 連携先の事業内容 | 連携先名:道の駅 鹿島 事業内容:海鮮丼販売 大企業or上場企業:× |
| 連携先が海プロに 賛同した理由や エリア事務局との関係 | 有明海に面している道の駅で、有明海に関する事に 理解があり、今回オリジナル海鮮丼販売に協力してもらうことに。 |
| 連携内容 | オリジナルイベントで子どもたちが有明海の魚などを 用いて考案したオリジナル海鮮丼の販売を実施した。 |
| 対象者の属性および 規模、物量 | 一日平均650人来客 |
| 実施期間 | 2019/12/14~2019/12/15 |
| 事業場所 | 道の駅 鹿島 |
| ロゴ掲出/PJ名発信 | 横断幕などでロゴ掲出 |
| 情報発信力 (ニュースサイト、テレビ放送) | ニュースサイト、応援動画で放送 |

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例



1-(2) 推進パートナーとの連携事例

| 項目 | 内容 |
|-----------------------------------|---|
| 企画名称 | 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ |
| 連携先名および 連携先の事業内容 | 連携先名:バルーンフェスタ組織委員会 事業内容:ブース出展 大企業or上場企業:× |
| 連携先が海プロに 賛同した理由や エリア事務局との関係 | 昨年もブースでの展開を実施し関係性ができているため |
| 連携内容 | 5日間で約80万人が訪れる会場にブースを出展し、海プロをPRする。横断幕やのぼりはもちろんのこと、イベントスペースにある大型ビジョンでプロジェクト訴求動画を流すなど周知を行った。海プロチラシを1万2000枚配布 |
| 対象者の属性および 規模、物量 | 約80万人、チラシ1万2000枚配布 |
| 実施期間 | 2019/10/31~2019/11/4 |
| 事業場所 | 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ会場内 |
| ロゴ掲出/PJ名発信 | 横断幕、チラシ、のぼり、ビジョンでのロゴ掲出 |
| 情報深度 | 会場内のイベントスペースの大型ビジョンにて海プロ訴求動画を放映 |

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例



事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例

| 項目 | 内容 |
|-----------------------------------|--|
| 企画名称 | オリジナルドリンク開発 |
| 連携先名および 連携先の事業内容 | 連携先名:バー エミオン 事業内容:オリジナル海プロドリンク開発 大企業or上場企業:× |
| 連携先が海プロに 賛同した理由や エリア事務局との関係 | 子どもだけではなく、大人にも海への意識を高めてほしいという理由から賛同。 |
| 連携内容 | オリジナル限定ドリンクを販売し、POPや店内に横断幕などを設置し海プロPRを実施した。 |
| 対象者の属性および 規模、物量 | 来店数平均 平日:15人 週末:70人 |
| 実施期間 | 2020/2/14~2020/2/29 |
| 事業場所 | バー エミオン |
| ロゴ掲出/PJ名発信 | 店内に横断幕掲示 |
| 情報深度 | 専用メニューに海プロ5つのアクションと海プロの説明など記載 |

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例



事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例

| 項目 | 内容 |
|-----------------------------------|--|
| 企画名称 | 海のカーニバルin唐津 |
| 連携先名および 連携先の事業内容 | 連携先名:唐津市 事業内容:ブースを出し、うみぼすワークショップ実施 大企業or上場企業:× |
| 連携先が海プロに 賛同した理由や エリア事務局との関係 | 先方との関係も築け、海の啓発活動など同じ目的であることから。 |
| 連携内容 | ブース出展で海プロPRしつつ、うみぼすワークショップ実施 |
| 対象者の属性および 規模、物量 | 親子連れなど約2万1000人 |
| 実施期間 | 2019/7/14 |
| 事業場所 | 唐津市唐津東港 |
| ロゴ掲出/PJ名発信 | 横断幕でロゴの掲示、 |
| 体験 | うみぼすワークショップ実施 |
| 情報発信力 (ニュースサイト、テレビ放送) | ニュースサイト、海応援動画でテレビ放送 |

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例



事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

2.ニュースサイト運営

2-(1) 投稿記事リスト

| No. | 投稿日 | 記事タイトル |
|-----|-----------|-------------------------------|
| 1 | 2019/4/13 | 鹿島市干潟交流館がオープン！ |
| 2 | 2019/4/15 | ガタリンピック 今年は6月2日開催 |
| 3 | 2019/4/21 | 唐津市で海開き！ |
| 4 | 2019/5/4 | 国内トップレベルの選手たちが熱戦 唐津湾でヨット全国大会 |
| 5 | 2019/5/6 | 飛来数が日本一！多くの野鳥愛好家で賑わう東よか干潟 |
| 6 | 2019/5/8 | 海水浴シーズンを前に、県内10カ所の海水浴場で水質調査 |
| 7 | 2019/5/15 | 筑後川初夏の風物詩「えつ」の試食会 |
| 8 | 2019/5/16 | 佐賀ノリ16年連続日本一！！ |
| 9 | 2019/5/17 | 歴史的発見なるか！？伊万里湾で海底調査 |
| 10 | 2019/5/29 | 国の特別名勝を守る！虹の松原で薬剤空中散布 |
| 11 | 2019/5/31 | 玄海町でさがっ子リレー放流！ |
| 12 | 2019/6/2 | 泥まみれ！ガタリンピックに1500人参加 |
| 13 | 2019/6/2 | 豊臣秀吉ゆかりの「呼子大綱引」 |
| 14 | 2019/6/5 | 全国一斉ごみ拾いウィーク！佐賀城公園でゴミ拾い♪ |
| 15 | 2019/6/6 | 唐津の海で園児たちが一生懸命ごみ拾い |
| 16 | 2019/6/8 | 1日限定「竹崎コハダ食堂」オープン |
| 17 | 2019/6/14 | 「大きくなってね！」玄海町の子供たちがカサゴの稚魚放流 |
| 18 | 2019/6/19 | 清掃車両も出動！きれいな砂浜を次世代へ「ホンダ」が清掃活動 |
| 19 | 2019/6/24 | 唐津の美しい海を守ろう！ラブアース・クリーンアップ |
| 20 | 2019/7/2 | 海ごみゼロウィーク |
| 21 | 2019/7/3 | みんなの海プロジェクト |
| 22 | 2019/7/9 | 「宝の海」取り戻す 漁師たちがササで「海の森」づくり |
| 23 | 2019/7/9 | あなたにとって海とは？ |
| 24 | 2019/7/10 | さがっ子リレー放流 |
| 25 | 2019/7/16 | さわる！学ぶ！ミニ水族館 |
| 26 | 2019/7/17 | 小川島発！海ゴミプロジェクト！ |
| 27 | 2019/7/22 | がたっ子七リンピック |
| 28 | 2019/7/23 | 海のカーニバルinからつ |
| 29 | 2019/7/30 | うみぼすグランプリ2019 |
| 30 | 2019/7/31 | 夏休みイベント！有明海のいきものアクアリウムをつくろう！ |

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

| No. | 投稿日 | 記事タイトル |
|-----|------------|---------------------------------------|
| 31 | 2019/8/5 | 海のそなえ |
| 32 | 2019/8/6 | さが総文干潟体験 |
| 33 | 2019/8/10 | 高校生がごみ拾いを競う新スポーツ「スポGOMI甲子園」熱戦！ 県予選 |
| 34 | 2019/8/13 | 唐津海上技術学校オープンスクール |
| 35 | 2019/8/14 | 鹿島市こどもラムサール観察隊 |
| 36 | 2019/8/19 | 約900人が参加！アクトクリーンSAGA 2019 |
| 37 | 2019/8/20 | シチメンソウの異変 |
| 38 | 2019/8/21 | 生きている化石 カブトガニ放流 |
| 39 | 2019/8/27 | 玄海セーリングクラブ |
| 40 | 2019/8/28 | スポGOMI甲子園 |
| 41 | 2019/8/29 | 今年も開催！「親子で体験さばける塾in佐賀」 |
| 42 | 2019/9/3 | 親子で学ぶ！有明親子探検隊 |
| 43 | 2019/9/4 | 漁師さんたちの有明海クリーンアップ作戦 |
| 44 | 2019/9/26 | 環境保全へ意識を 唐津の海辺で中学生が漂流物を調査 |
| 45 | 2019/10/2 | 団体の垣根を超えて「東よか干潟底生生物調査」 |
| 46 | 2019/10/2 | 親子で体験！さばける塾in佐賀 |
| 47 | 2019/10/2 | 佐賀の攻めてる限定ポテチ販売開始！第三弾は「いかしゅうまい味」 |
| 48 | 2019/10/3 | 今年も開催！Cygames presents 伊万里湾大花火2019 |
| 49 | 2019/10/3 | 「まえうみ」探検隊 メンバー募集 |
| 50 | 2019/10/15 | 唐津お魚まつり |
| 51 | 2019/10/16 | 島おこし！宝当てんぶら |
| 52 | 2019/10/22 | 海鮮丼を作ろう！まえうみ探検隊 |
| 53 | 2019/10/23 | 海の幸いっぱい 離島のレストラン |
| 54 | 2019/10/23 | 本格的な漁再開へ 有明海特有の二枚貝ウミタケ人工稚貝を海に移植 |
| 55 | 2019/10/27 | 「日本一の産地」有明海でノリの種付け解禁 60万枚の網を張り込み |
| 56 | 2019/10/29 | 自然の恵み 清流玉島川鮎まつり |
| 57 | 2019/10/30 | 出張ブース！見て！触って！佐賀さいこうフェス |
| 58 | 2019/11/13 | 今年のエビは大きくて甘い！唐津市で贈答用クルマエビの出荷始まる |
| 59 | 2019/11/14 | 有明海ノリ 雨が降らず塩分不足... 色落ちや生育の遅れ |
| 60 | 2019/11/26 | 宝の海を取り戻せ 海の森 |

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

| No. | 投稿日 | 記事タイトル |
|-----|------------|--------------------------------|
| 61 | 2019/11/29 | 日本一の産地・有明海でノリの初摘み 育成遅れ懸念も無事回復！ |
| 62 | 2019/12/13 | 【注意！】かまれると死亡することも 猛毒のヒョウモンダコ |
| 63 | 2019/12/14 | 海苔扱い説明書！？佐賀空港のノリ自動販売機 デザイン一新！ |
| 64 | 2019/12/26 | 有明海の魅力を発信！まいうみ海鮮丼 |

2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 1 レポート |
| 投稿日 | 2019年4月13日(土曜日) |
| 記事タイトル | 鹿島市干潟交流館がオープン！ |
| 記事本文 | <p>「道の駅鹿島」の敷地内に、有明海を一望できるデッキや有明海の生き物などを観察できるミニ水族館を備えた新たな観光拠点がオープンしたよ！</p> <p>有明海特有の生き物や干潟とふれあい交流人口増加につなげることを目的に、市が約4億3000万円をかけて作ったんだ。</p> <p>有明海の広大な干潟を一望できる展望デッキがあって、ワラスボやシオマネキなどいろんな生き物を見ることができるよ！</p> <p>有明海の干潟体験シーズンの到来を告げる「潟開き」も行われて、みんな泥だらけになりながらたの感触を楽しんでいたよ。</p> <p>ぼくも泥だらけで遊びたいなあ～。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 2 レポート |
| 投稿日 | 2019年4月15日(月曜日) |
| 記事タイトル | ガタリンピック 今年は6月2日開催 |
| 記事本文 | <p>有明海の干潟を舞台に行われる「鹿島ガタリンピック」が、今年は6月2日に開催されることが決まったよー！ 大会では初めてイメージガールが起用され、PRIにあたるんだって。</p> <p>今年の鹿島ガタリンピックのテーマは「バケる。」 泥まみれになって身も心も「化ける」という意味と、ガタリンピックを「バケーション」=特別な休日として感じてほしいという思いが込められているんだ。</p> <p>大会初のイメージガールに就任した岩屋美咲さん(24)は、鹿島市出身・在住のモデルで、「ガタリンピックを日本だけでなく世界も含めてたくさんの人に知っていただきたいと思っているので、SNSなども含め私から発信していってどんどん有名なものにこれからもなっていけばいい」って言ってたよ。</p> <p>今年も2千人ほどの参加者を見込んでるんだって。みんなも遊びに行っかね～！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 3 レポート |
| 投稿日 | 2019年4月21日(日曜日) |
| 記事タイトル | 唐津市で海開き！ |
| 記事本文 | <p>夏の海水浴シーズンを前に、唐津市の西の浜では県内で最も早く海開きがあり、関係者が海の安全を祈願したよ。</p> <p>唐津市の西の浜では、毎年4月下旬に県内の海水浴場では最も早く海開き式が行われるんだ。</p> <p>地元の子どもたちやトライアスロンの愛好家などが海に入って、今年の“初泳ぎ”を楽しんでいたよ。</p> <p>この日はまだちょっと冷たかったみたいだけどね…。</p> <p>ぼくも早く海で遊びたいな～。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 4 レポート |
| 投稿日 | 2019年5月4日(土曜日) |
| 記事タイトル | 国内トップレベルの選手たちが熱戦 唐津湾でヨット全国大会 |
| 記事本文 | <p>国内トップレベルのジュニア・ユース選手が出場するヨットの全国大会が唐津湾で開かれているよ。 この大会は唐津の自然を生かし、ヨット競技の振興を図ろうと開かれていて、唐津での開催は5回目なんだ。</p> <p>競技は男女別にそれぞれ2種目で、16歳から19歳を中心に県内をはじめ全国各地から167艇、約260人が出場しているんだ。 420級は今年7月にポルトガルで開かれる世界選手権の選考も兼ねていて、国内トップレベルの選手たちが熱戦を繰り広げていたよ。</p> <p>ヨットってカッコいいよね～！ぼくもヨットに乗ってみたいなあ～。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 5 レポート |
| 投稿日 | 2019年5月6日(月曜日) |
| 記事タイトル | 飛来数が日本一！多くの野鳥愛好家で賑わう東よか干潟 |
| 記事本文 | <p>全国有数の野鳥の飛来地として知られる佐賀市の東よか干潟では、多くの愛好家が野鳥の観察を楽しんでいるよ。</p> <p>佐賀市南部の有明海に広がる東よか干潟には、毎年、春と秋に多くの渡り鳥が羽を休めに飛来するんだ。その姿をひと目見ようと県の内外から多くの野鳥愛好家が訪れ、1万3000羽を超える野鳥の観察を楽しんでいたよ。</p> <p>日本野鳥の会佐賀県支部によると東よか干潟は、シギやチドリの飛来数が日本一といわれていて、観察は毎月いっぱい楽しめそうなんだって。</p> <p>ぼくも東よか干潟大好き！ 野鳥たちも大好きなんだね。ゆっくり休んで行ってね～！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 6 レポート |
| 投稿日 | 2019年5月8日(水曜日) |
| 記事タイトル | 海水浴シーズンを前に、県内10カ所の海水浴場で水質調査 |
| 記事本文 | <p>海水浴シーズンを前に県は、海水浴に適した水質かどうかを判断するため主な海水浴場で水質を調査したよ。 この調査は、1万人以上が利用する海水浴場を対象に毎年行っているものなんだ。</p> <p>唐津市や伊万里市など10カ所の海水浴場で、満潮をむかえる午前10時前から11時過ぎにかけて行われたよ。</p> <p>このうち唐津市の東の浜海水浴場では、船に乗った民間の調査員が水深1メートルから1.5メートルのところまで海水をくみ上げて油膜がないかや海水の透明度を確認したんだって。</p> <p>くみあげた海水は、民間の調査機関が汚れの度合いや大腸菌の数などを分析し、今月下旬に結果を公表する予定だよ。 県によると県内では今年も7月上旬から海水浴が楽しめそうなんだって。</p> <p>ぼくもはやく海で泳ぎたいなあ～！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 7 レポート |
| 投稿日 | 2019年5月15日(水曜日) |
| 記事タイトル | 筑後川初夏の風物詩「えつ」の試食会 |
| 記事本文 | <p>筑後川の初夏の風物詩、エツ漁が今月解禁したのに合わせて、その美味しさを知ってもらおうと5月14日に佐賀市で試食会が開かれたよ。</p> <p>試食会では、1日に漁が解禁し旬を迎えたエツの美味しさを知ってもらおうと、佐賀市諸富町の飲食店で作る団体が今年初めて開いたものなんだって。試食会では、エツの刺身やからあげのほか諸富町で採れた野菜を使った料理が並んだよ。</p> <p>そのほかにも、普段なかなか見られないエツの骨切りの実演も行われて、参加者は料理人の技に見入っていたよ。</p> <p>諸富町では、一部の飲食店でエツ料理が楽しめる「えつ銀色まつり」が開催中で7月20日まで開かれているよ。</p> <p>ちなみに、エツはカタクチイワシ科で、日本では筑後川の河口を中心とした有明海にのみ生息しているらしい。</p> <p>僕もエツ料理食べてみたいなー。</p> |



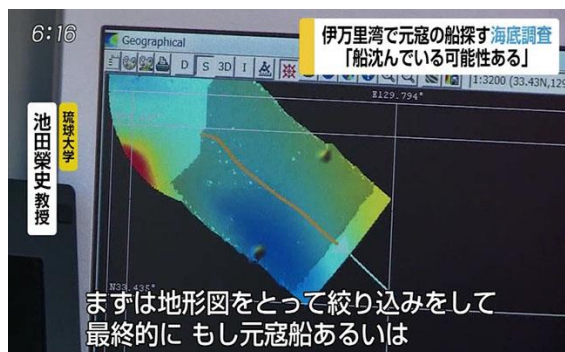
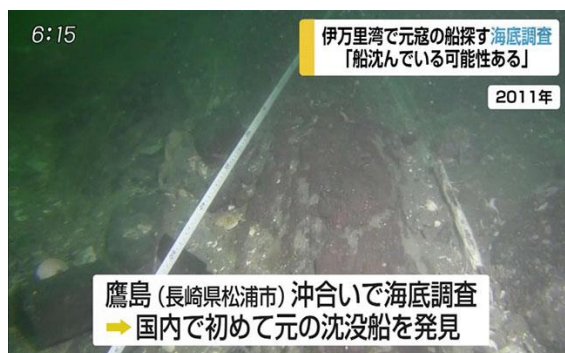
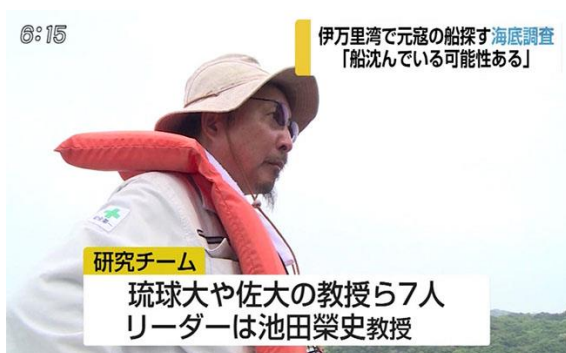
2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 8 レポート |
| 投稿日 | 2019年5月16日(木曜日) |
| 記事タイトル | 佐賀ノリ16年連続日本一！！ |
| 記事本文 | <p>宮城県で最後の入札会が開かれて、佐賀県産のノリが販売枚数・販売額ともに16年連続日本一になったよ！！</p> <p>今シーズンは、雨の日が少なくて栄養塩が少なかったことなどから枚数が落ち込んで、販売枚数・販売額ともに目標に届かなかったらしい。でも、全国的にも不作だったことから平均単価が上がって16年連続日本一につながったんだって。</p> <p>僕も佐賀のり大好き！ おにぎりは塩と佐賀のりだけで充分だよね！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 9 レポート |
| 投稿日 | 2019年5月17日(金曜日) |
| 記事タイトル | 歴史的発見なるか！？伊万里湾で海底調査 |
| 記事本文 | <p>13世紀後半に元が日本に襲来した元寇。このときに沈没した船などの遺物を見つけようと、5月13日から15日にかけて伊万里湾で海底調査が行われたよ。研究チームは琉球大学や佐賀大学の教授ら7人で、リーダーは琉球大学で考古学を教える池田榮史教授。</p> <p>2011年、池田教授は長崎県松浦市鷹島の沖合いで海底調査を行って、国内で初めて元の沈没船を発見したんだ。</p> <p>これまで佐賀県側での調査は行われていなくて、池田教授は佐賀大学の宮武正登教授らと協力して調査を始めることにしたんだ。</p> <p>池田教授は「4400艘に近い船が来ていて暴風雨に沈んだ船があえて長崎県側だけに沈んでいるということはないと思う。伊万里湾全体を考えた時に当然肥前町側にも船が沈んでいる可能性がある」って言ってたよ。</p> <p>佐賀県と長崎県にまたがる伊万里湾の面積は約120平方キロメートル。</p> <p>元寇では鎌倉幕府軍と蒙古軍の間で激しい攻防戦が繰り広げられたんだって。調査の第1歩として鍵を握るのが、海底に向けて音波を送ることで地形の情報などが分かる装置なんだ。</p> <p>音波調査は海底にある遺物の確認だけじゃなくて、海の深さや土の堆積状況も把握することができるから、研究チームは「今回のデータを基に今後の調査の時期や規模を決めたい」って言ってたよ。</p> <p>佐賀の海に歴史的な遺物が眠っているかもしれないね！ 僕もとっても楽しみ♪</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 10 レポート |
| 投稿日 | 2019年5月29日(水曜日) |
| 記事タイトル | 国の特別名勝を守る！虹の松原で薬剤空中散布 |
| 記事本文 | <p>唐津市にある国の特別名勝・虹の松原を松くい虫の被害から守る薬剤の空中散布が行われたよ。</p> <p>虹の松原は、唐津湾沿岸に広がる長さ4.5キロのクロマツを中心とした松原で、国の特別名勝にも指定されている県内でも有名な場所。</p> <p>空からの薬剤散布は松枯れの原因となる松くい虫が活発になる前に駆除しようと国と県、唐津市が連携し大規模な被害を受けた翌年の1972年から毎年取り組んでいるよ。</p> <p>周辺の道路を規制した上で午前5時すぎから1時間半程度、風の状況をみながら約4,000リットルが散布されたんだ。</p> <p>薬剤は環境に影響の少ないもので、虹の松原約143ヘクタールのほか七ツ釜、波戸岬など観光地の松原にも散布されたんだよ。</p> <p>唐津湾の松原を守るために頑張るヘリコプター、とってもかっこいいね！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 11 レポート |
| 投稿日 | 2019年5月31日(金曜日) |
| 記事タイトル | 玄海町でさがっ子リレー放流！ |
| 記事本文 | <p>玄海町で保育園の園児がヒラメの稚魚を放流し「大きくなって」などと声をかけながら玄海灘に泳いでいく姿を見送ったよ。</p> <p>この取り組みは、子供たちに水質や水産資源の大切さなどを学んでもらおうと、県が行っているもので、31日は玄海町の仮屋漁港で地元の保育所・あおば園の園児20人が参加したよ。</p> <p>始めに県の玄海水産振興センターの職員さんから、放流の仕方などについての説明を受けたあと、体長8センチから10センチほどの稚魚に優しく触れて観察したんだ。</p> <p>その後、みんなで思い思いに声をかけながら200匹を放流し、泳いで行く姿を見送ったよ。</p> <p>ひらめちゃん！ぼくも応援してるから、大きくなってね～！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 12 レポート |
| 投稿日 | 2019年6月2日(日曜日) |
| 記事タイトル | 泥まみれ!ガタリンピックに1500人参加 |
| 記事本文 | <p>日本一の干満差がある有明海の干潟で、毎年恒例の「鹿島ガタリンピック」が開かれたよ～！</p> <p>今年で35回目を迎える「鹿島ガタリンピック」。 県内外のほかアメリカや韓国、中国など12カ国から約1500人が参加したんだ。</p> <p>競技は8種目で、2年ぶりに行われた「ガターザン」ではクレーンにつるされたロープから干潟に飛び込み、飛距離などを競っていたよ。</p> <p>参加者のみなさんは、「アメリカから来ました。よかった。楽しかった。素晴らしいと思います」「普段味わえない泥の感触がすごく気持ちいい」って言ってたよ。 参加者は約2万人の観客の歓声を浴びながら、全身泥だらけになって有明海の干潟を楽しんでいたよ！</p> <p>ガタリンピック、これからも毎年続いてほしいね！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 13 レポート |
| 投稿日 | 2019年6月2日(日曜日) |
| 記事タイトル | 豊臣秀吉ゆかりの「呼子大綱引」 |
| 記事本文 | <p>唐津市呼子町で420年以上続く伝統行事、呼子大綱引が行われたよ。</p> <p>呼子大綱引は420年ほど前、豊臣秀吉が朝鮮出兵のため現在の唐津市にあった肥前名護屋城に陣を構えた際、兵の士気を高めようと軍船の綱を引かせたのが始まりで、国の重要無形民俗文化財に指定されているんだ～！</p> <p>今年は飛び入りを含め約900人が、豊作を願う「岡組」と大漁を願う「浜組」に分かれ、長さ約200メートル重さ3トンの大綱を3本勝負で引き合っていたよ。今年は「岡組」が勝ったから、「豊作」の年になりそうなんだって！</p> <p>ぼくもかっこよく綱引きしたいなあ～。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 14 レポート |
| 投稿日 | 2019年6月5日(水曜日) |
| 記事タイトル | 全国一斉ごみ拾いウィーク!佐賀城公園でゴミ拾い♪ |
| 記事本文 | <p>5月30日は、5(ご)3(み)0(ゼロ)の日♪ 全国一斉ごみ拾いウィークがスタートしたよ!</p> <p>ようは、サガテレビグループのみんなで佐賀城公園の周りのゴミ拾いをしたんだ。 公園の周りはゴミが少なかったよ～!</p> <p>海ゴミの80%が、風や雨に流されてきた街ゴミなんだって…! みんなが協力して、ゴミのない街になるといいなあ。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 15 レポート |
| 投稿日 | 2019年6月6日(木曜日) |
| 記事タイトル | 唐津の海で園児たちが一生懸命ごみ拾い |
| 記事本文 | <p>海岸のごみ拾いを通して子供たちに海を守る大切さなどを知ってもらう環境教室が唐津市で開かれたよ。</p> <p>環境教室は海の美化に取り組む「海洋環境保全推進月間」にあわせて唐津海上保安部が毎年開いているんだ。 6日は唐津市のリョーユー幼稚園約70人のお友達が参加してくれたよ。</p> <p>ごみが海の生き物に与える影響を紙芝居などで学んだあと、海岸の300メートルの範囲を清掃したんだ。 園児たちは軍手とごみ袋を持って、職員たちと一緒にペットボトルや流れ着いたごみを一生懸命拾っていたよ～。 みんなは、「たのしかった。長いごみがあってビックリした」「いっぱいゴミをとるのがむずかしかった」って言ってたよ。</p> <p>園児たちは40分ほどかけ45リットルのごみ袋10袋分を集めたんだって！ すごいね！ みんなが協力して海の生き物たちが過ごしやすい海になるといいなあ～。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 16 レポート |
| 投稿日 | 2019年6月8日(土曜日) |
| 記事タイトル | 1日限定「竹崎コハダ食堂」オープン |
| 記事本文 | <p>江戸前ずしを代表するコハダのおいしさを知ってもらおうと、県内で唯一水揚げをしている太良町に1日限定のコハダ食堂がオープンしたよ。</p> <p>この食堂は、太良町竹崎地区で水揚げされるコハダのおいしさを知ってもらい地域活性化につなげようと、漁師の妻たちでつくる団体「竹崎コハダ女子会」などが1日限定で開いたんだ～。</p> <p>コハダの天ぷら丼や押しずし定食など地元の家庭で食べられているメニューが約150食提供され、県内外から訪れた人たちは新鮮なコハダ料理を堪能していたよ。</p> <p>竹崎地区は県内で唯一コハダが水揚げされていて、その大半が東京へ出荷されるんだって。 コハダ食堂、次に開店する時も行きたいなあ～。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 17 レポート |
| 投稿日 | 2019年6月14日(金曜日) |
| 記事タイトル | 「大きくなってね！」玄海町の子供たちがカサゴの稚魚放流 |
| 記事本文 | <p>玄海町の小学生がカサゴの稚魚を放流し、海の環境を守ることの大切さを学んだよ。 このイベントは、子供たちに「魚介類と親しみ海を守る大切さ」を学んでもらおうと、玄海町と仮屋漁協が毎年行っているんだ。</p> <p>13日は仮屋漁港近くの海岸で「玄海みらい学園」の児童、47人が体長7センチ程のカサゴの稚魚約800匹を海に放したよ。</p> <p>カサゴは、岩場をすみかに、1年で15センチほど、3年で20センチほどに成長するんだって！ 参加したお友達は、「楽しかった」「手でさわれた。大きくなってほしい」って言ってたよ。</p> <p>玄海漁協のカサゴの水揚げ量は、去年12.3トンで、減少傾向にあるんだって…。 きれいな海を守って、たくさんのカサゴが大きくなってほしいね！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 18 レポート |
| 投稿日 | 2019年6月19日(水曜日) |
| 記事タイトル | 清掃車両も出動!きれいな砂浜を次世代へ「ホンダ」が清掃活動 |
| 記事本文 | <p>美しい海岸を次の世代に残そうと、自動車メーカーの販売会社の関係者が19日朝、唐津市で海岸を清掃したよ。</p> <p>この清掃活動は素足で歩くことができる砂浜を次の世代に残そうと、毎年、自動車メーカーホンダの販売店の関係者が全国の海岸で取り組んでいるもので、今年で14年目になるんだって。</p> <p>19日は唐津市の東の浜海水浴場で170人が参加して、流木や貝殻、海藻などを拾い集めたんだ。</p> <p>参加した人は「貝殻もあるけどゴミも沢山あるので、こういうのがあると足が痛いだろうと思う」「県外から来た人にもきれいだと思ってもらえるような、海になったらいいと思う」って言ってたよ。</p> <p>あと、人の手が入りにくい砂に隠れたゴミは、ホンダが開発した清掃車両がかき集めてたよ。</p> <p>ホンダさんすごいね!「掃除する車」僕も乗ってみたい!</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 19 レポート |
| 投稿日 | 2019年6月24日(月曜日) |
| 記事タイトル | 唐津の美しい海を守ろう！ ラブアース・クリーンアップ |
| 記事本文 | <p>海水浴シーズンなどを前に唐津の海を美しくしようと、住民らによる清掃活動が一斉に行われ4000人あまりが汗を流したよ。</p> <p>この清掃活動は行政・企業・民間が連携して唐津の美しい海を守ろうと、地元商工会議所などでつくる実行委員会が30年ほど前から行っているんだ。</p> <p>地元住民や県内企業などから4000人あまりが参加し、東の浜海水浴場など7カ所で海岸に漂着した木くずやビニールなどを拾い集めたよ。</p> <p>参加者は、「意識も高まって、一気にやったら海もすごくきれいになるので定期的にやっていたらいい」「いいことだと思う。皆さん参加する機会が多くなればなおいいと思う」と話していたよ。</p> <p>1時間ほどの清掃で燃えるごみ燃えないごみあわせて、約15トンが集まったんだって。すごいね！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 20 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月2日(火曜日) |
| 記事タイトル | 海ごみゼロウィーク |
| 記事本文 | <p>佐賀県遺産の浜野浦棚田を望む海岸で玄海町役場職員互助会のみなさんが海岸清掃を行いました。</p> <p>毎年、530(ごみゼロ)の5月30日から世界海洋デーの6月8日前後に定められた「海ごみゼロウィーク」に活動をしています。</p> <p>100人近い役場の職員が4班に分かれて清掃を行いました。</p> <p>参加した人たちは「だんだんごみの量も減ってきたなって思いますね。この綺麗な状態が続けばいいなと思ってます。」</p> <p>「自然豊かだととてもいいところだと思ってます。地元っていうのもありますし、自分が働いている町でもあるので少しでもきれいに出来ればいいなと思って毎回参加してます。」と話しています。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 21 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月3日(火曜日) |
| 記事タイトル | みんなの海プロジェクト |
| 記事本文 | <p>「地元の海をきれいにしたい!」という思いを持つ唐津の小学生たちのグループが「みんなの海プロジェクト」です。 立ち上げた3年前は6人だったメンバーも、今では13人になりました。</p> <p>今回行った活動は唐津市東の浜の清掃活動です。 その他にも専門家の話を聞きに行ったり、市民団体と協力して活動するなど、何が出来るのか自分たちで考え、仲間たちと協力しています。</p> <p>参加した子どもたちは「外国から流れ着いているのもあるので捨てないでほしいなとか思うのはあります。唐津の海はきれいっていうイメージを持ってほしい。」と話しています。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 22 レポート |
| 投稿日 | 2019年7月9日(火曜日) |
| 記事タイトル | 「宝の海」取り戻す 漁師たちがササで「海の森」づくり |
| 記事本文 | <p>有明海の再生をめざして、ノリ漁師さんたちが魚介類が住みやすい環境づくりに取り組んでいるよ。「海の森」と呼ばれるその試みて？ある日の昼下がりに、佐賀市の佐嘉漁港から南西へ15キロほどの場所にあるノリの漁場へと10隻の漁船が出港したんだ。船には、ノリの養殖には似つかわしくない大量のササ。漁場には次々とノリ漁船が集まって、組合員が50人がかりで長さ4メートルほどのササを海底に突き刺してたよ。その数なんと7000本。その目的は「この笹を海底に突き刺すことで魚介類が住みやすい環境を作っていく事」なんだって。県有明海漁協が4年前から取り組むのは有明海再生事業「海の森」。海底に突き刺さったササが有明海の環境の改善に一役買っているんだ。県有明海漁協佐賀市支所の杉町省次郎運営委員長は「一番は赤潮でノリがとれなくなる色落ちする、それに加えて貝類が壊滅した」「20年くらい前から豊饒の海をいわれた海がなりわいされんような海になった」って話してくれたよ。ノリ漁師歴53年の杉町省次郎さんは「宝の海」と呼ばれた有明海を取り戻すため自分たちにもできることはないかと探る中で、かつて先人が行っていたというこの取り組みに思い当たったんだって。ササを海底に突き刺すことで潮の流れをかき回しノリや二枚貝の生育に悪影響を及ぼす貧酸素を解消。このササに藻が生え、魚のえさとなるプランクトンが発生。さらにササは、カキなど貝類の幼生や、ノリの孢子などを付着させて育てる採苗器の役割も果たしているんだ。作業を進めていると1隻の漁船が近づいてきたよ。なんと漁船の上には大きなスズキが。スズキ漁師の田中肇さんは「(初日にしては)大漁」「ここに魚が逃げてくる網が入らんけん」「プランクトン関係も違う」って言ってたよ。この日はスズキの他にマナガツオなども釣れたんだ。取り組むこと5年。杉町さんは、少しずつ魚介類の増加を実感しているんだって。2007年以降を休漁を続けていた有明海特有の二枚貝ウミタケはおととしから試験操業を再開。今年は生息範囲の拡大や成員の増加などをうけ、さらに規模や期間を拡大したよ。杉町さんは「自分たちが金もうけできるより、そこをなりわいとしている人たちからいいといわれることが喜び」「一番は後継者が育つような海になってもらいたい。漁業者はいいと思ってもらえる海になれば、それが最終目的」って話してくれたよ。魚介類の住処を作る「海の森」。「宝の海」と呼ばれた有明海の再生を目指して一歩ずつ、漁業者の歩みは続くよ。漁師さんの取り組み、僕も応援する！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 23 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月9日(火曜日) |
| 記事タイトル | 「あなたにとって海とは？」 |
| 記事本文 | <p>佐賀県は有明海と玄界灘の2つの海を持ち、たくさんの恵みを受けています。今回は唐津市玄海町、肥前町、鹿島市七浦で「あなたにとって海とは？」と海に対する思いを聞きました。</p> <p>「安心するところ」 「楽しいところ」 「宝物です」 「かけがえのないもの」 「豊かな恵みを与えてくれるもの」 「たのしいところ」 「心が落ち着くところ」 「県民の宝」 「いろいろな魚がすむところ」 「最高の癒し」 「家」 「仕事の場」 「私たちが生きていく上で、大切なところ」。</p> <p>みなさん海に対する様々な思いを持っていました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 24 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月10日(水曜日) |
| 記事タイトル | さがっ子リレー放流 |
| 記事本文 | <p>肥前子ども教室の子どもたちが「さがっ子リレー放流」を行いました。</p> <p>今年で14年目の開催となる「さがっ子リレー放流」は、海をより美しく豊かな状態で次の世代に引き継いでいくことを目的に、子どもたちが県内各地で魚を放流するイベントです。</p> <p>今回は唐津市肥前町の菖津漁港で32人の子どもたちがカサゴの稚魚約600尾を放流しました。</p> <p>参加した子どもたちは「おさかなさん大きくなってね！」と稚魚の成長を願っていました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 25 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月16日(火曜日) |
| 記事タイトル | さわる！学ぶ！ミニ水族館 |
| 記事本文 | <p>有明海を望む干潟交流会館の2階に有明海に生息する魚を展示するミニ水族館があります。</p> <p>ムツゴロウ、シオマネキ、クラゲなど、たくさん水槽があり、展示水槽以外にも有明海の生物に触れて学べるタッチプールもあります。</p> <p>バックヤードにはほかにもたくさんの魚が飼育されており、飼育状態が整えば、展示されているものと入れ替えられます。</p> <p>ミニ水族館の来場者は「今後子どもが海の魚とか干潟に対して興味を持ってくれればいいかなと思います。」と感想を話していました。</p> <p>海に生きる生き物を知ることで有明海の見え方が今までと変わってくるかもしれません。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 26 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月17日(水曜日) |
| 記事タイトル | 小川島発！海ゴミプロジェクト！ |
| 記事本文 | <p>唐津市小川島にある小川小中学校の全校生徒8人が、各地で問題となっている海洋ごみの啓発活動を行っています。</p> <p>海岸に落ちていた海洋ごみで鯨のオブジェを作ったり、島の魅力や島が抱える漂着ゴミ問題などを伝える啓発動画を作成したりしています。</p> <p>今回は海岸の清掃活動とがぜ採りを行いました。</p> <p>生徒は「掃除しても掃除してもゴミが流れてくるので、僕たちが作った動画やオブジェでゴミの現状を知ってもらって、ポイ捨てしない意識を持って欲しい」と思いを語っていました。</p> <p>小川島の生徒たちは、島を愛する思いをこれからも発信していきます</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 27 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月22日(月曜日) |
| 記事タイトル | がたっ子七リンピック |
| 記事本文 | <p>鹿島市立七浦小学校で「がたっ子七リンピック」が開催されました。</p> <p>全校生徒が「潟スキー競争」や「ガタソーラン」など、干潟ならではの競技に出場しました。 熊本校長は「目の前に干潟が広がっていながら、普段入る機会はなかなかない。地域の特性を活かした特色ある行事として大事に続けていきたいと思う。」と話していました。</p> <p>干潟で楽しみながら、有明海の豊かな自然に触れるこの行事は、子どもたちが地元の海に親しむきっかけとなっています。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 28 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月23日(火曜日) |
| 記事タイトル | 海のカーニバルinからつ |
| 記事本文 | <p>今年も「海のカーニバルinからつ」が開催されました。</p> <p>海を感じ、海を味わい、環境を考えるこのイベントでは、唐津海上技術学校によるモーターボートの体験試乗会や、ふわふわ遊具、海上保安部と水難救済会が共同で行う海難救助訓練など、様々な催しがありました。</p> <p>海は楽しい場所ですが、時に危険な事故が起きる場合もあります。</p> <p>海難救助訓練を行った海上保安部の隊員は、「釣りをしたり船に乗ってレジャーを楽しむ際は必ず救命胴衣を着用してほしい。そうすれば何らかの不意の事故によって海中転落した場合でも浮いて待つことができるのでまだ助けられる余地がある。」と海で楽しむ際の注意を語っていました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 29 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月30日(火曜日) |
| 記事タイトル | うみぼすグランプリ2019 |
| 記事本文 | <p>7月14日に開催された「海のカーニバルinからつ」の会場内で、「うみぼすグランプリ2019」が開催されました。</p> <p>「うみぼすグランプリ」は、地元の海に人を集めることを目的とした地方創成プロジェクトです。 「ポスター部門」「動くポスター部門(動画)」「絵てがみ部門」の3部門で募集します。</p> <p>今年は「この海に来て」「海を守りたい」「おいしい海」というテーマで絵を描きました。</p> <p>絵を描いた子どもたちは「海が好きじゃない人に好きって思ってもらいたい。」「唐津の海の絵。きれいだったからだれでも見てほしい。」と絵に込めた思いを話していました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 30 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年7月31日(水曜日) |
| 記事タイトル | 夏休みイベント！有明海のいきものアクアリウムをつくろう！ |
| 記事本文 | <p>鹿島市干潟交流館のミニ水族館で、「有明海の生きものアクアリウムをつくろう」が開催されました。子どもたちは、有明海のどんな生きものを飼育するか決め、その生きものに合った環境の水槽を作りました。</p> <p>鹿島市干潟交流館指導員の藤井さんは、「ぜひ海の生きものを飼ってほしいと思い企画した。見るだけではなかなか伝わらないので、飼育することによっていろんな行動が分かる。有明海の生きものを知ってほしい。」と話していました。</p> <p>子どもたちは、マエビやシラタエビなどを持ち帰り、作ったアクアリウムに入れて飼育します。長い夏休みをいかし、生物と有明海のことを考える良い経験になることでしょう。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 31 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年8月5日(月曜日) |
| 記事タイトル | 海のそなえ |
| 記事本文 | <p>海のレジャーを楽しむため、多くの人々が海へと訪れます。しかし、海は危険な事故につながる場所でもあります。唐津マリン青バイ隊は水上バイクに乗り、唐津の海水浴場を訪れる人たちを見守っています。</p> <p>唐津マリン青バイ隊の隊員は「海に来る方は楽しく遊ぼうと来られるが、海はきれいな反面、様子をすぐに変えてしまう怖さがある。」と話していました。</p> <p>また、自分の身を守るためのそなえとして、「お酒を飲んで海に入らない」「疲れている時は海に入らない」「健康面が不安な時は海に入らない」と注意を促していました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 32 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年8月6日(火曜日) |
| 記事タイトル | さが総文干潟体験 |
| 記事本文 | <p>文化部のインターハイとも呼ばれる全国総合文化祭で佐賀に集まった高校生たちが有明海を訪れました。 干潟は初めてという人がほとんどです。</p> <p>「セメントというか粘土というか、触ったことがない感覚。干潟って深い!」「柔らかくて気持ちいいです。沈むのでいいトレーニングになります。」「沖縄の海にもこんな感じの所があるので近いなと思ったけど、泥の質が全然違ったのすごかった。」など、初めて干潟に入った感想を話していました。</p> <p>また、自然科学系の部活動の人たちは、有明海の生き物に興味津々の様子でした。地元の家とは違う有明海の良さを知るいい機会になりました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 33 レポート |
| 投稿日 | 2019年8月10日(土曜日) |
| 記事タイトル | 高校生がごみ拾いを競う新スポーツ「スポGOMI甲子園」熱戦！県予選 |
| 記事本文 | <p>全国25都道府県の高校生がごみ拾いを競い合う「スポGOMI(ごみ)甲子園」の県予選が唐津市で開かれたよ。</p> <p>「スポGOMI(ごみ)甲子園」はごみ拾いを競い合うことで海洋ごみ問題について考えてもらおうと、日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環として開かれたもの。</p> <p>10日の県予選には、24人が参加し、3人一組で60分間、海水浴場や虹の松原一帯のごみを拾い、質と量を競ったよ。</p> <p>参加者は炎天下のなか汗を流しながら、日本発祥の地球に優しいスポーツに打ち込んでいたよ。</p> <p>参加した高校生は、「めっちゃ集まっている。燃えるごみが多く集まっている」「運転する人がポイって捨ててるからペットボトルが多いかなと思ったけど案外少なかった」って言ってたよ。</p> <p>優勝チームは今年9月に東京で開かれる全国大会に県代表として出場する予定なんだ。</p> <p>佐賀県代表として頑張してほしいね！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 34 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年8月13日(火曜日) |
| 記事タイトル | 唐津海上技術学校オープンスクール |
| 記事本文 | <p>唐津海上技術学校のオープンスクールに県内外から多くの中学生が訪れました。参加した中学生たちは船内設備の見学、海図の読み方、操船体験、さらに海での安全に欠かせないロープワークも体験しました。</p> <p>海上技術学校の先生は「将来海で働くことが素晴らしいことだと感じてほしい。しかし、海の中ではいろいろな制約があるということ。海に対して恐れもあるということを感じてほしい。」と話していました。</p> <p>また、参加した中学生は「小さい頃から海が好きで、将来海に関する仕事がしたいと思っています。海を走る船などが本当に好きで、海上自衛隊や海上保安庁などに入って海を守りたいと思います。」と語っていました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 35 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年8月14日(水曜日) |
| 記事タイトル | 唐津海上技術学校オープンスクール |
| 記事本文 | <p>ラムサール条約湿地に登録されて4年が経った有明海の干潟で「鹿島市こどもラムサール隊」が生物調査を行いました。</p> <p>鹿島市こどもラムサール隊は、様々な自然体験を通して干潟のこと、有明海のことを考えて次世代につながるリーダーを育成していく団体です。この日は干潟に入っでの生物採集と調査を行いました。その他にも県外の博物館見学や海につながる山での体験学習などの活動も行っています。</p> <p>参加した子どもは「新しい発見がありそうだから入りました。有明海は他には全然ない海。」と話していました。有明海について知ることで、海に対する理解を深め、自然や海を大切にする心が育まれていきます。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 36 レポート |
| 投稿日 | 2019年8月19日(月曜日) |
| 記事タイトル | 約900人が参加!アクトクリーンSAGA 2019 |
| 記事本文 | <p>シチメンソウが自生する佐賀市の東与賀海岸で約900人の市民らが参加し、環境保全のための清掃活動を行ったよ。</p> <p>「アクトクリーンSAGA」はサガテレビが環境キャンペーンの一環として15年前から毎年行っている清掃活動。</p> <p>17日はシチメンソウが自生している佐賀市の東与賀海岸で親子連れなど約900人が参加したよ。</p> <p>家族で来ていた参加者は「たのしかった」「佐賀の大事な資源なのでごみ拾いをして少しでも役に立ったという実感が持てた」「結構ごみが落ちている。隅々までみて子どもと一緒に見つけた、見つけたとゴミ袋がふくれてくと達成感というか気持ちがいい」って言ってたよ。</p> <p>参加者は1時間ほどかけて木の枝やごみなどを拾い集めていたよ。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 37 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年8月20日(火曜日) |
| 記事タイトル | シチメンソウの異変 |
| 記事本文 | <p>現在、東与賀海岸のほとんどのシチメンソウが立ち枯れています。シチメンソウはアカザ科の一年草の植物で、塩水にも耐える塩生植物です。</p> <p>シチメンソウの立ち枯れの原因を探るため、佐賀大学農学部郡山准教授率いるグループが調査を始めました。</p> <p>郡山准教授は「実はまだ立ち枯れの原因はよくわかっていない。泥の分析をやってみて昨年起こった立ち枯れを検討してみようと計画している。今の環境がそのまま続くということではなく、干潟の環境に応じてシチメンソウやほかの生物も移り変わっていく。珍しい生き物もいるのでまずは来てもらって興味を持っていただきたい。」と話していました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 38 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年8月21日(水曜日) |
| 記事タイトル | 生きている化石 カブトガニ放流 |
| 記事本文 | <p>日本最大のカブトガニ生息地の伊万里市多々良海岸でカブトガニ放流が行われました。 放流するのは1cmほどの幼生です。多々良海岸で生まれた卵を子どもたちが育てました。</p> <p>伊万里市教育委員会生涯学習課の一本さんは、カブトガニ放流の意義を「まずカブトガニは絶滅危惧種なので増殖するため。それから、子どもたちが命を育て倫理道徳に関して学ぶこと。そして地元の人たちにカブトガニがとても貴重で保護していく価値があると認識していただくこと。」と話していました。</p> <p>参加した子どもたちは「多々良海岸はカブトガニが産卵しに来てくれるところ。とてもいい海岸だと思う。」「綺麗な海にしていきたい。」など思いを語っていました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 39 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年8月27日(火曜日) |
| 記事タイトル | 玄海セーリングクラブ |
| 記事本文 | <p>「玄海セーリングクラブ」ではヨットやSUP、クルーザーなど、一味違う海のレジャーが体験できます。 今回参加したのは毎年、イベントへの参加を楽しみにしている地元のキッズクラブの子どもたちです。</p> <p>玄海セーリングクラブの吉原さんは「海があるにもかかわらず、学校教育や地域活動で海に接する機会が少ない。 海での楽しみ方を体験できるような場を設けて、海に接する機会が増えていけばいい。」と思いを語っていました。</p> <p>参加した子どもたちは「前は漕げなかったけど今日は漕げた。」「風が吹いて速くなるのが楽しかった。」など感想を話し、海を楽しむことで改めて海の素晴らしさを知ったようでした。</p> |



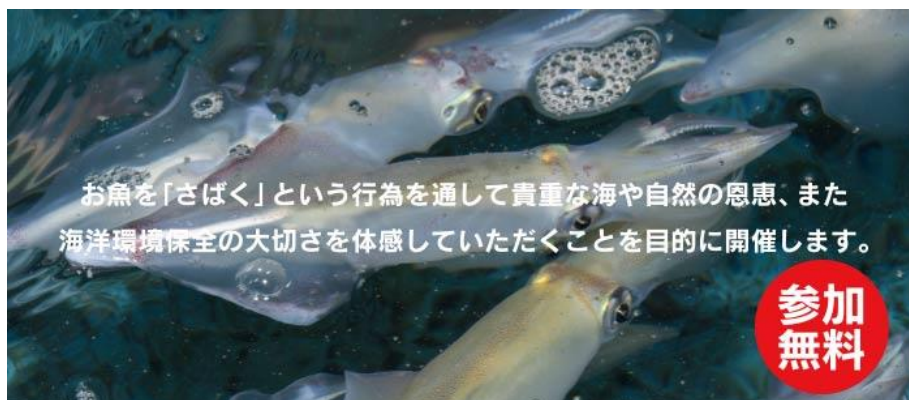
2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 40 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年8月28日(水曜日) |
| 記事タイトル | スポGOMI甲子園 |
| 記事本文 | <p>「スポGOMI甲子園佐賀県大会」が開催されました。 「スポGOMI」とは、ゴミ拾いに競技性を持たせ楽しめるようにしたエコなスポーツです。</p> <p>高校生が3人一組になり、制限時間内にゴミ拾いを行い、拾ったゴミの種類と量で競い合います。 今回は8チーム24人の高校生が参加し、60分間、虹の松原とその周辺の海岸のごみ拾いを行いました。 優勝したのは「厳木高校Aチーム」です。県大会で優勝したチームは東京で行われる全国大会に出場します。</p> <p>「厳木高校Aチーム」の生徒は「東京に行ってもゴミ拾いを一生懸命頑張って優勝したいです。」と全国大会へ向けた意気込みを語っていました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 41 イベント |
| 投稿日 | 2019年8月29日(木曜日) |
| 記事タイトル | 今年も開催！「親子で体験さばける塾in佐賀」 |
| 記事本文 | <p>今年も「親子で体験さばける塾in佐賀」が開催されるよ。 イカをさばいて、親子で料理に挑戦! 魚を「さばく」、このさばける塾を通じて、みんなには貴重な海や自然の恩恵、 また海洋環境保全の大切さを体感してほしいな。 先着順だから、急いで応募したほうがいいよ! みんなからの応募待ってるね～。</p> <p>定員に達したため締め切らせていただきました。応募ありがとうございました！</p> <p>親子で体験!さばける塾in佐賀 親子でイカ料理にチャレンジ! イカを包丁でさばいて炒め物や和え物に調理し、みんなでいただきます。</p> <p>お申し込み先 西九州大学 佐賀調理製菓専門学校 海と日本さばける塾in佐賀係 TEL 0952-22-2001(平日8:30~17:30)FAX 0952-22-2002</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 42 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年9月3日(火曜日) |
| 記事タイトル | 親子で学ぶ！有明親子探検隊 |
| 記事本文 | <p>親子で船に乗って有明海を探検する「有明親子探検隊」が開かれました。最初に有明海の伝統漁法や生息する生き物について学びます。その後、船に乗り、有明海の水温や塩分を随時計測する「海況自動観測タワー」や伝統漁法の「あんこう網漁」を見学しました。</p> <p>あんこう網漁見学では、網を引く体験も行いました。参加した子どもたちは「エイリアンみたい」「意外とおっきい」「ぷによぷによです！」など魚を触った感想を話していました。</p> <p>また、参加した保護者は「初めて触ったエイの口に歯があった。触らないと分からないところがあったのですごく良かった。」と話し、親子にとって新しい発見がある一日になったようです。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 43 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年9月4日(水曜日) |
| 記事タイトル | 漁師さんたちの有明海クリーンアップ作戦 |
| 記事本文 | <p>有明海の広江漁港で漁業関係者が「有明海クリーンアップ作戦」を行いました。有明海クリーンアップ作戦は毎年開かれており、有明海を暮らしの拠点とする漁業関係者が総距離97kmの有明海の海岸線を清掃しています。</p> <p>今回は1600人を超える漁業関係者が参加しました。参加者たちは「今年はゴミが少ないが、毎年ゴミはある。雨が降ったら上流から流れてくるから下流でゴミを清掃しないとイケない。」「有明海は生活する場所になっているからゴミがない海がいい。」などと話していました。</p> <p>海には様々なものが流れ着くため、漁業関係者だけでなく1人1人が海に対する意識を高めていくことが大切です。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 44 レポート |
| 投稿日 | 2019年9月26日(木曜日) |
| 記事タイトル | 環境保全へ意識を 唐津の海辺で中学生が漂流物を調査 |
| 記事本文 | <p>海の環境保全などへ意識を高めてもらおうと、唐津市の中学生が海水浴場に打ち寄せられた漂流物を調査したよ。</p> <p>この調査は海の環境保全対策や環境美化の意識を高めてもらおうと、唐津市の相賀の浜海水浴場で毎年行われているんだ。</p> <p>26日は市内の湊中学校の1年生17人が参加し、決められた10メートル四方の3つの区画に打ち寄せられた漂流物を、ペットボトルやプラスチックなど8種類に分別し拾い集めていたよ。</p> <p>参加した中学生は「小さな範囲だけどここだけでも、きれいにできてよかった。こういうものが流れてきているのかわかったのでよかった」って言ってたよ。</p> <p>この調査は海洋環境保全に取り組む公益財団法人が実施していて、唐津市以外に日本海沿岸の自治体に加え韓国やロシアなどでも行われているんだって。1人1人が意識を高めていくことが大事だね！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 45 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年10月2日(水曜日) |
| 記事タイトル | 団体の垣根を超えて「東よか干潟底生生物調査」 |
| 記事本文 | <p>東与賀干潟で佐賀大学、自然史研究会、佐賀市などの様々な調査隊が連携調査を行いました。 4年前から年2回、各団体が連携し干潟の調査を行っています。</p> <p>2日間かけて、干潟の成分調査や生物採集などを行います。この日はガタスキーを使い、沖の方まで調査を行いました。</p> <p>自然史研究会の副島さんは「たくさんの目で見るということで見落としがない。環境はいい方向か悪い方向か分からないが刻々と変化している。干潟に入るといろんな生物の生活が見えてくると思うので、干潟をよく知らない人たちにそれを感じてほしい。」と話していました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 46 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年10月2日(水曜日) |
| 記事タイトル | 親子で体験! さばける塾in佐賀 |
| 記事本文 | <p>日本財団主催の『さばける塾』が開催されました。さばける塾とは、親子で魚をさばく体験を通して、食の大切さと海の恩恵を学んでもらう取り組みです。佐賀県会場では呼子名物のイカをさばきました。</p> <p>参加した親子は「魚を触ったことがないのでやらせてみようと思った。」「イカを切ったのは初めてだった。イカはこんな風にてきてたんだなと思った。」と話していました。</p> <p>また、講師の先生は「パックに入っているのが魚だと思われる。生きていけるものであれば命を頂くという気持ちも芽生えてくると思う。触って料理を楽しんでほしい。」と思いを語っていました。</p> |



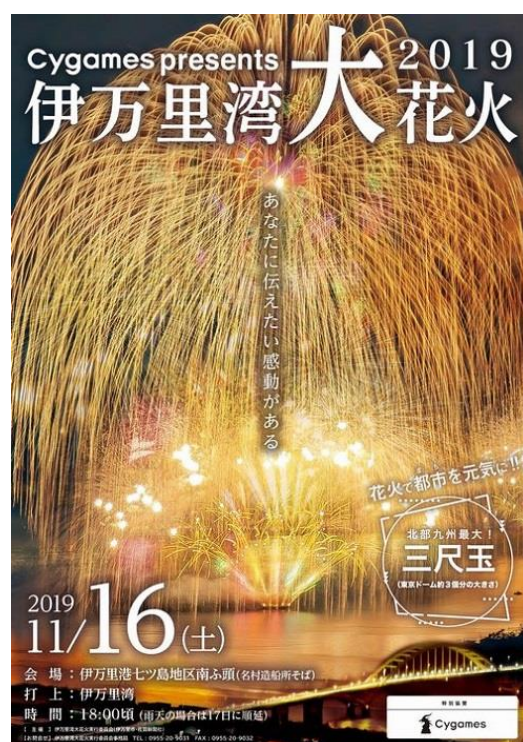
2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 47 レポート |
| 投稿日 | 2019年10月2日(水曜日) |
| 記事タイトル | 佐賀の攻めてる限定ポテチ販売開始！第三弾は「いかしゅうまい味」 |
| 記事本文 | <p>佐賀の地域限定のポテトチップス、「いかしゅうまい味」が発売されたよ。大手菓子メーカーのカルビーは、地元で愛される味を作ろうと2年前から47都道府県の地域限定ポテトチップスを販売しているんだ。</p> <p>「佐賀のり味」、「ミンチ天味」に続く第3弾となるいかしゅうまい味は、2019年1月ごろからカルビーと佐賀県が共同で15回以上の試作を重ねて完成したんだって！唐津くんちの曳山が載ったパッケージもかっこいいね！</p> <p>ポテトチップスいかしゅうまい味は、9月23日から九州・沖縄のスーパーやコンビニなどで販売されているよ。</p> <p>いかしゅうまい味、美味しそうだね!僕も買いに行かなくちゃ～。</p> |



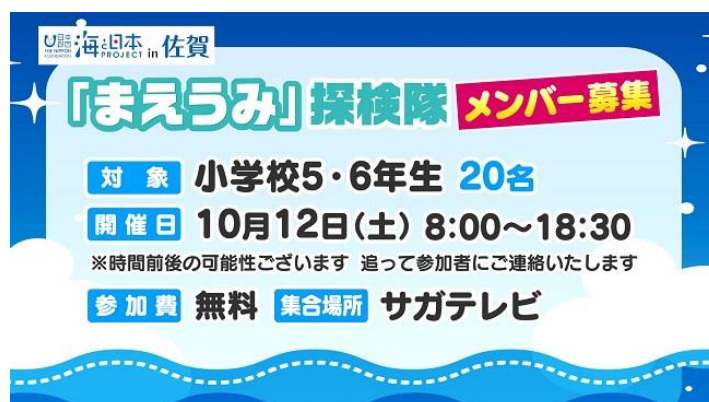
2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 48 レポート |
| 投稿日 | 2019年10月3日(木曜日) |
| 記事タイトル | 今年も開催！Cygames presents 伊万里湾大花火2019 |
| 記事本文 | <p>Cygames presents 伊万里湾大花火が今年も開催されるよ！！ この花火大会は、佐賀県内でもとても人気のある花火大会なんだ。 その見どころは、なんとといっても3尺玉の打ち上げ。 3尺玉は上空での開花直径が約600メートルにもなるんだって！その大きさは東京ドーム3個分の大きさで、北部九州最大級！！大注目の花火大会だよ。</p> <p>この花火大会は、伊万里湾の海上から打ち上げられるため、伊万里湾を囲む地域で花火を楽しむことができるんだって。 メイン会場の伊万里市黒川町の伊万里港七ツ島地区と対岸の山代町久原地区に観覧エリアが設けられる予定だよ。</p> <p>秋の夜空と海を彩る花火、楽しみだな～。</p> <p>伊万里湾大花火実行委員会(0955-20-9031) 伊万里市ホームページ</p> <p>イベント名 Cygames presents 伊万里湾大花火 日程 11月16日(土) 18時頃スタート 場所 メイン会場:伊万里港七ツ島地区 JR伊万里駅から車で約15分</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 49 イベント |
| 投稿日 | 2019年10月3日(木曜日) |
| 記事タイトル | 「まえうみ」探検隊 メンバー募集 |
| 記事本文 | <p>小学5,6年生を対象に有明海を学ぶイベントが開催! 台風で延期になってしまったけど10月12日(土)に開催が決まったよ!</p> <p>今回は1日にギュッと凝縮して行われるみたい。 朝は有明海で漁体験をして、そのあと有明海のことについて学んで、最後にみんなオリジナル海鮮丼をつくるんだって! どんな海鮮丼ができるのかな～。</p> <p>最終的に選ばれた海鮮丼は、限定販売されるんだって! 先着順だから、急いで応募してね。みんなからの応募待ってるよ～!</p> <p>お申込み・お問い合わせ エンターアイまえうみ探検隊係 tel:0952-24-3222 平日10:00～17:30</p> <p>イベント名 「まえうみ」探検隊 日程 10月12日(土)</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 50 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年10月15日(火曜日) |
| 記事タイトル | 唐津お魚まつり |
| 記事本文 | <p>唐津港沿岸物市場で「唐津お魚まつり」が開催されました。</p> <p>唐津お魚まつりとは、玄海の新鮮な魚に親んでもらおうと唐津市と地域の様々な団体が一丸となり行っているイベントです。</p> <p>素早く逃げってしまうエビを捕まえる「活きエビキャッチ」や、イカ、アジなどの魚を袋に詰める「お魚詰め放題」などの催しが行われました。</p> <p>参加者は「普段スーパーなどで切り身とかでしか魚を見たり触ったりする機会がないのでとても貴重な体験だった。」「きれいな海があると新鮮な魚がたくさん獲れるので自然のありがたみを感じる。子どもたちも環境などにも興味を持ってくれたらと思う。」と感想を語っていました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 51 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年10月16日(水曜日) |
| 記事タイトル | 島おこし！宝当てんぷら |
| 記事本文 | <p>唐津市高島で玄海漁協高島支所の女性部が「宝当てんぷら」を作りました。</p> <p>宝当てんぷらは新鮮な魚のすり身をたっぷりを使い、香ばしく揚げられ、中はぶりぶりとした食感です。</p> <p>玄海漁協高島支所女性部の野崎さんは「高島で魚が獲れ、お客さんがたくさん宝当神社にお参りに来るから、何か島の名産となるものを作ろうと思った。」と話していました。</p> <p>また、玄海漁協高島支所女性部の古泉さんは「骨などもミンチにしている食べやすいので、魚嫌いの子どもたちにも食べてもらいたい。」と話していました。</p> <p>海の恵みが詰まった宝当てんぷらは、高島の魅力を伝える島おこしのひとつとして期待されています。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 52 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年10月22日(火曜日) |
| 記事タイトル | 海鮮丼を作ろう！まえうみ探検隊 |
| 記事本文 | <p>体験を通して有明海のことを学ぶ「まえうみ探検隊」が今年も開催されました。今年のテーマは「有明海恵み丼を開発しよう」。</p> <p>有明海にはどのような生き物が住んでいて、どのような恵みがあるのかを専門家の講義を受けて学んだあと、自分たちで考えたオリジナル海鮮丼を作りました。</p> <p>参加した子どもたちは「他県の人が食べて有明海のお魚のおいしさを分かってもらえる丼を作りたい。」と意気込みを語り、「有明海はお魚が多くてとても美味しい魚が育っている海だと思った。」と感想を語っていました。</p> <p>参加した子どもたちは「他県の人が食べて有明海のお魚のおいしさを分かってもらえる丼を作りたい。」と意気込みを語り、「有明海はお魚が多くてとても美味しい魚が育っている海だと思った。」と感想を語っていました。</p> <p>子どもたちは有明海の恵みをのせた海鮮丼を作り、より一層海への理解と感謝を深めたようでした。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 53 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年10月23日(水曜日) |
| 記事タイトル | 海の幸いっぱい 離島のレストラン |
| 記事本文 | <p>唐津の離島、松島に「レストランテマツシマ」という一軒のレストランがあります。</p> <p>レストランテマツシマでは、島の漁師が獲ってきた新鮮な海の幸をイタリアンにして提供しています。</p> <p>オーナーシェフの宗さんは「自然豊かな松島のことが好き。だんだん人口も少なくなっている松島の島おこしをしたいと思い、松島でレストランをしている。ふるさとの海は私が料理の道に進むきっかけになった海。松島の海は島の人の生活のすべてでありかけがえのないもの。透き通って綺麗で魚や海産物が豊富な豊かな海になってほしい。」と島と海に対する思いを語っていました。</p> |



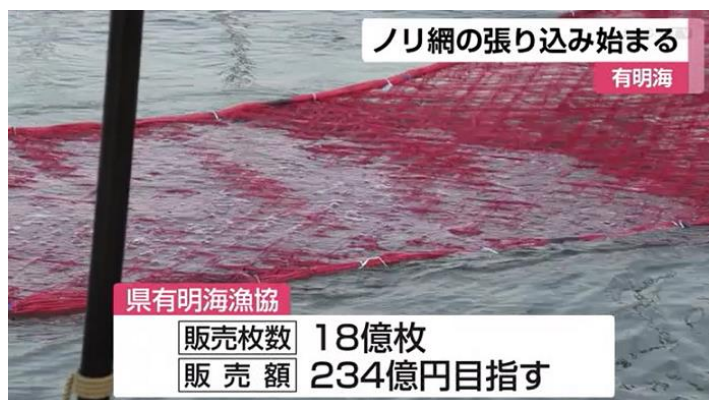
2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 54 レポート |
| 投稿日 | 2019年10月23日(水曜日) |
| 記事タイトル | 本格的な漁再開へ 有明海特有の二枚貝ウミタケ人工稚貝を海に移植 |
| 記事本文 | <p>国や県は有明海特有の二枚貝ウミタケの大人の貝成貝を増やし、再び本格的な漁につなげるため人工でつくった貝の子供稚貝18万6000個を海に移植したよ。</p> <p>有明海特有の二枚貝ウミタケは漁獲量の減少から2007年以降休漁が続き、おとしから試験操業が行われているんだ。</p> <p>国や県はウミタケの成貝や子孫を増やし本格的な漁につなげようと、3年前から漁場の造成のほか去年からは稚貝の量産や移植に取り組んでいるよ。</p> <p>21日は潜水士を含む漁業者と県の職員4人が、今年つくった長さ0.2センチから1.9センチの稚貝約18万6000個を、早津江川沖と白石沖の2カ所に移植したんだ。</p> <p>県水産課栽培資源担当 野口浩介係長は「資源は着実に増えている。(人工稚貝が)うまく着底して親となりより多くの卵を産み一刻も早い操業に向けて県として取り組んでいきたい」と話していたよ。</p> <p>ウミタケの試験操業は年々規模や期間を延ばしていて、今年の漁獲量は11日間で1.5トンと去年の約6倍だったんだって。</p> <p>ウミタケの赤ちゃん、かわいいね！無事に大きくなってほしいな。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 55 レポート |
| 投稿日 | 2019年10月27日(日曜日) |
| 記事タイトル | 「日本一の産地」有明海でノリの種付け解禁 60万枚の網を張り込み |
| 記事本文 | <p>17年連続の生産量日本一に向け、佐賀県沖の有明海では、今シーズンの養殖ノリの種付けが始まりました。</p> <p>ノリの種付けは27日午前0時に解禁され、有明海沿岸の漁港から約780隻の船が出港したんだ。</p> <p>27日の水温は21度台と、養殖ノリの種付けに適した状況で、漁業者はノリの胞子がついたカキ殻をつるした長さ18メートルの網を張り込んでいたよ!</p> <p>県有明漁協の徳永重昭組合長は「(ノリの)安全をPRする意味でも県に対応してもらった。今のところ(油流出は)何も影響ない。主力の生産県として生産量を確保したい」と話していたよ。</p> <p>27日は60万枚に上る網が張り込まれ、11月下旬に摘み取りが始まる予定なんだって。</p> <p>県有明海漁協は今シーズン販売枚数18億枚販売額234億円を目指しているよ。</p> <p>ぼくも大好きな佐賀ノリ。今年も楽しみだな～!</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 56 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年10月29日(火曜日) |
| 記事タイトル | 自然の恵み 清流玉島川鮎まつり |
| 記事本文 | <p>唐津市にある玉島川の河川敷で「清流玉島川鮎まつり」が開催されました。玉島川は6月になると鮎漁が解禁になり、シーズン中、釣り人たちが集います。</p> <p>今年で20回目を迎える清流玉島川鮎まつりでは旬の鮎とやまめを味わうことができます。玉島川鮎まつり実行委員会の榎崎さんは「九州の方、佐賀の方はもちろんのこと、全国の方にも玉島川の鮎を知っていただきたい。」と思いを語り、鮎などが住む環境について「川や海に自分のごみを捨てないというのが一番。」と話していました。</p> <p>鮎は、川とつながる海で過ごす期間もあります。海や川に住む生き物が生きていく環境を守るために一人一人ができることから始めることが大切です。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 57 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年10月30日(水曜日) |
| 記事タイトル | 出張ブース！見て！触って！佐賀さいこうフェス |
| 記事本文 | <p>今年も「佐賀さいこうフェス」が開催され、会場には「海と日本PROJECT」のブースも開設しました。</p> <p>ブース内では海の現状を伝え、海を未来へつないでいくためのアクションの輪を広げる佐賀県のプロジェクトを放送。 有明海の生き物に触れて学べる体験コーナーは子どもたちでにぎわいました。</p> <p>会場で生き物の説明をしていた佐賀大学農学部藤井特任教授は「佐賀の人たちは意外と海に行く機会がない。毎年一回でもいいので海へ行行って関心を持って、自分たちの生活に海が関わっているということを理解してほしい。」と話していました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 58 レポート |
| 投稿日 | 2019年11月13日(水曜日) |
| 記事タイトル | 今年のエビは大きくて甘い! 唐津市で贈答用クルマエビの出荷始まる |
| 記事本文 | <p>唐津市浜玉町で贈答用のクルマエビの出荷が本格的に始まったよ。今年は、例年より大きく甘みが強いエビに仕上がっているんだって～!</p> <p>唐津市浜玉町にある養殖場では、毎年、お盆と年末に贈答用のクルマエビを出荷しているんだ。</p> <p>13日から本格的な出荷が始まり、従業員が飼育池から17センチほどに育った生きの良いクルマエビをすくい上げ、手際よく箱詰めしていたよ。</p> <p>今年は、初めての試みとして餌を改良したということで成長過程で死滅するエビも少なく、例年より1、2センチ大きい甘みの強いエビに仕上がっているんだって!</p> <p>クルマエビセンター場長 芦名淳一さんは「ここ近年にない素晴らしい良いエビが出来ております。胸を張って食べて頂きたいと考えております。」と話していたよ。</p> <p>小売り価格は1キロ1万円で、年末年始の贈答用として約5トンが東京豊洲や大阪、福岡の市場に出荷されます。個人で来店する場合は、来月26日まで受け付けているよ。</p> <p>とっても立派なクルマエビだね～。ぼくも食べたくなっちゃった!</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 59 レポート |
| 投稿日 | 2019年11月14日(木曜日) |
| 記事タイトル | 有明海ノリ 雨が降らず塩分不足… 色落ちや生育の遅れ |
| 記事本文 | <p>佐賀県沖の有明海で先月下旬、種付けが解禁された養殖ノリ。栄養塩の不足による色落ちや生育の遅れを受けて県有明海漁協は14日緊急の会議が開かれたよ。</p> <p>種付け後、十分な雨が降らず生育に必要な栄養塩が不足していて、有明海全体特に西南部を中心に色落ちや生育の遅れが確認されているんだって。14日に開かれた県有明海漁協の緊急の会議には、各支所の運営委員長や支所長などが集まったよ。会議では、徳永重昭組合長が「採苗後、天気の良さが続き急激に有明海全体の栄養塩が不足している」と現状を説明し、今後の対応について説明・指示していたよ。</p> <p>県有明海漁協の徳永重昭組合長は「できることといえば網を張り込む場所や位置を栄養塩がある場所に張り込んでほしい」と話していたよ。県有明海漁協は「ここ数日間で若干海域全体が回復傾向にある」とも話し、天候による今後の回復を期待しているよ。</p> <p>秋芽網ノリの摘み取りは今月27日ごろから始まる予定だよ。無事に育てて欲しいなあ</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 60 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年11月26日(火曜日) |
| 記事タイトル | 宝の海を取り戻せ「海の森」 |
| 記事本文 | <p>有明海に「海の森」と呼ばれる場所があります。海の森とは漁師たちが海の豊富な宝の海を取り戻すために海に竹を刺して作ったものです。</p> <p>佐賀大学の藤井特任教授は「竹を刺すことで生き物が住み着きやすくなる。特に貝類の幼生が竹にくっつくため、生き物が育つ環境になる。」と海の森の効果を話します。</p> <p>有明海で漁をする杉町さんが宝の海を取り戻すために海の森を作る協力を仰いだところ「海は繋がっている。だからみんなでやろう。」とほかの地区の漁師たちも一緒に活動することになりました。杉町さんは「喜んで行きたくなるような海になることを願っている。」と思いを語っていました。</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 61レポート |
| 投稿日 | 2019年11月29日(金曜日) |
| 記事タイトル | 日本一の産地・有明海でノリの初摘み 育成遅れ懸念も無事回復！ |
| 記事本文 | <p>佐賀市川副町の戸ヶ里漁港から約4キロの沖合では10月27日に種付けされた秋芽網ノリの摘み取りが始まったよ。</p> <p>10月の種付け以降、十分な雨が降らず生育に必要な栄養塩が不足したことから色落ちや生育の遅れが確認されていたけど、その後、適度な雨が降ったことなどから海況が改善しやや生育の遅れはあるものの例年と変わらず質のいいノリができているんだって！</p> <p>初摘みのノリはやわらかくくちどけがいいことから毎年高値で取り引きされているんだ。</p> <p>ノリ漁業者の北村慎太郎さんは「途中の海況のことを考えるとわりといいおいしいノリがとれた。頑張って(日本一)目指していきたい」と話していたよ。</p> <p>今シーズンは販売枚数18億枚、販売額234億円を目標に17年連続の日本一を目指していて、摘み取られたノリは12月5日に予定されている初入札会に出品されるよ。</p> <p>きっと今年も有明海のノリは日本一だね！</p> <p>美味しいノリが早く食べたいなあ～！！</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|--|
| No. | 62レポート |
| 投稿日 | 2019年12月13日(金曜日) |
| 記事タイトル | 【注意!】かまれると死亡することも 猛毒のヒョウモンダコ |
| 記事本文 | <p>かまれると死亡することもある猛毒のヒョウモンダコが唐津市呼子町の海岸で目撃されていると、視聴者からサガテレビアプリに投稿がよせられたよ。12日午前2時ごろ、唐津市呼子町殿ノ浦付近の海岸で釣りをしていた際に、2匹見つけたんだって。玄海水産振興センターに確認してみたら、猛毒を持つヒョウモンダコで、近年、唐津市の海岸でも目撃情報があるんだって。</p> <p>ヒョウモンダコは、体長10センチ程度の小型のタコで刺激を受けると全身に青いリング模様が現れるよ。唾液腺にフグと同じ神経毒のテトロドトキシンなどの猛毒があって、かまれると呼吸困難や心停止を引き起こし、最悪の場合は死亡することもあるんだ。</p> <p>玄海水産振興センターは、ヒョウモンダコを見つけても絶対に捕まえたり触れたりしないよう呼び掛けているよ。</p> <p>海にもいろんな生き物が住んでいるんだね。毒をもった生き物には気を付けよう!</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 63 レポート |
| 投稿日 | 2019年12月14日(土曜日) |
| 記事タイトル | 海苔扱い説明書!?佐賀空港のノリ自動販売機 デザイン一新! |
| 記事本文 | <p>佐賀県が佐賀空港に設置している佐賀ノリの自動販売機。ノリの表面にプリントされているデザインが14日、新しくなったよ。</p> <p>佐賀空港を訪れる人に県産ノリをPRしようと今年2月に登場した佐賀ノリの自動販売機。ノリの表面には、ノリの歴史や豆知識がプリントされているんだけど、14日、デザインが新しくなったんだ!</p> <p>新しいデザインは「海苔扱い説明書」として「ノリの選び方」、「食べ方」「保存方法」の3種類があり1袋4枚入り、300円で販売されているよ。 購入した人は「佐賀のノリはすごくおいしい。かさばらないのでお土産にしやすい。ストーリーがあってここから話が盛り上がりそうで選びました」と話していたよ。</p> <p>県によると、佐賀ノリの自動販売機は3月31日まで設置する予定なんだって。 ぼくも遊びに行ったときに買ってみたいなあ～!</p> |



2-(2) 投稿記事詳細

| | |
|--------|---|
| No. | 64 番組情報 |
| 投稿日 | 2019年12月26日(木曜日) |
| 記事タイトル | 有明海の魅力を発信！まえうみ海鮮丼 |
| 記事本文 | <p>12月14日、15日に道の駅鹿島で海鮮丼が限定販売されました。</p> <p>この海鮮丼は10月に開催された「まえうみ探検隊」で子どもたちが考えたものです。ウナギや海苔、シバエビなどの有明海の食材を使っています。</p> <p>まえうみ探検隊で子どもたちは「色とりどりでいろんな海鮮が入っているという特徴がある。」「有明海が全国の人に知られて資源もたくさんとれるような良い海にしていきたい。」と話していました。</p> <p>海鮮丼を購入したお客さんは「具たくさんでいろいろのっけていて見た感じも楽しい。」「アイデアが詰まっていて佐賀・鹿島を盛り上げたいという気概が伝わってくる。」と感想を語っていました。</p> <p>地元の海を大切に思う心が、美しい海を作ります。</p> |



事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

3.海応援動画制作・放送

3-(1) 海応援動画リスト

| 動画ID | 動画タイトル | 尺(秒) |
|---------|------------------------|------|
| 佐賀県-A01 | 海ごみゼロウィーク | 120秒 |
| 佐賀県-A02 | 海ごみゼロアワード | 120秒 |
| 佐賀県-A03 | 海の日周知広報 | 120秒 |
| 佐賀県-A04 | さがっ子リレー放流 | 120秒 |
| 佐賀県-A05 | さわる！学ぶ！ミニ水族館 | 120秒 |
| 佐賀県-A06 | 小川島発！海ゴミプロジェクト！ | 120秒 |
| 佐賀県-A07 | がたっ子セリンピック | 120秒 |
| 佐賀県-A08 | 海のカーニバルinからつ | 120秒 |
| 佐賀県-A09 | うみぼすグランプリ2019 | 120秒 |
| 佐賀県-A10 | 有明海のいきものアクアリウムをつくろう！ | 120秒 |
| 佐賀県-A11 | 海のそなえ | 120秒 |
| 佐賀県-A12 | さが総文干潟体験 | 120秒 |
| 佐賀県-A13 | 唐津海上技術学校オープンスクール | 120秒 |
| 佐賀県-A14 | 鹿島市こどもラムサール観察隊 | 120秒 |
| 佐賀県-A15 | シチメンソウの異変 | 120秒 |
| 佐賀県-A16 | 生きている化石 カブトガニ放流 | 120秒 |
| 佐賀県-A17 | 玄海セーリングクラブ | 120秒 |
| 佐賀県-A18 | スポごみ甲子園 | 120秒 |
| 佐賀県-A19 | 親子で学ぶ！有明親子探検隊 | 120秒 |
| 佐賀県-A20 | 漁師さんたちの有明海クリーンアップ作戦 | 120秒 |
| 佐賀県-A21 | 親子で体験！さばける塾in佐賀 | 120秒 |
| 佐賀県-A22 | 垣根を超えて！東よか干潟底生生物調査 | 120秒 |
| 佐賀県-A23 | 唐津お魚まつり | 120秒 |
| 佐賀県-A24 | 島おこし！宝当てんぷら | 120秒 |
| 佐賀県-A25 | 海鮮丼を作ろう！まえうみ探検隊 | 120秒 |
| 佐賀県-A26 | 海の幸いっぱい 離島のレストラン | 120秒 |
| 佐賀県-A27 | 自然の恵み 清流玉島川鮎まつり | 120秒 |
| 佐賀県-A28 | 出張ブース！見て！触って！佐賀さいこうフェス | 120秒 |
| 佐賀県-A29 | 宝の海を取り戻せ 海の森 | 120秒 |
| 佐賀県-A30 | 有明海の魅力を発信！まえうみ海鮮丼販売 | 120秒 |

3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A01 |
| 動画タイトル | 海ごみゼロウィーク |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 海ごみゼロウィークについて放送しました。 佐賀県遺産の浜野浦棚田を望む海岸で玄海町役場職員互助会のみなさんが海岸清掃を行いました。 毎年、530(ごみゼロ)の5月30日から世界海洋デーの6月8日前後に定められた「海ごみゼロウィーク」に活動をしています。 この日は、100人近い役場の職員が4班に分かれて清掃を行いました。 参加した人たちは「だんだんごみの量も減ってきたなって思いますね。この綺麗な状態が続けばいいなと思ってます。」「自然豊かでもとてもいいところだと思ってます。地元っていうのもありますし、自分が働いている町でもあるので少しでもきれいに出来ればいいなと思って毎回参加してます。」と話していました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-----------------------|-------------------|--------|
| 7月2日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A02 |
| 動画タイトル | 海ごみゼロアワード |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>海ごみゼロアワードの応募団体について放送しました。</p> <p>佐賀県から応募した団体の一つは、「地元の海をきれいにしたい！」という思いを持つ唐津の小学生たちのグループ「みんなの海プロジェクト」です。</p> <p>立ち上げた3年前は6人だったメンバーも、今では13人になりました。</p> <p>今回行った活動は唐津市東の浜の清掃活動です。</p> <p>その他にも専門家のお話を聞きに行ったり、市民団体と協力して活動するなど、何が出来るのか自分たちで考え、仲間たちと協力しています。</p> <p>参加した子どもたちは「外国から流れ着いているものもあるので捨てないでほしいな」とか思うのはあります。唐津の海はきれいというイメージを持ってほしい。」と話していました。</p> |

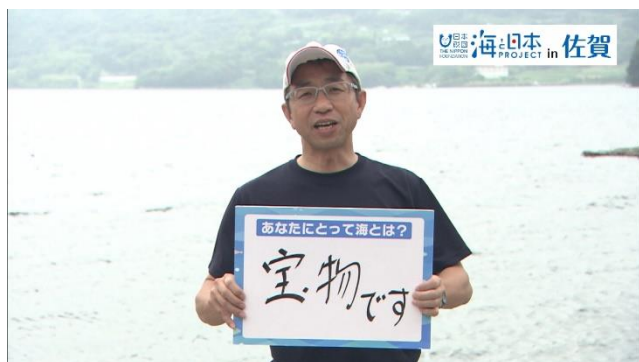
| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-----------------------|-------------------|--------|
| 7月3日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A03 |
| 動画タイトル | 海の日周知広報 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 県内各地え海について聞いて放送しました。 佐賀県は有明海と玄界灘の2つの海を持ち、たくさんの恵みを受けています。 今回は唐津市玄海町、肥前町、鹿島市七浦で「あなたにとって海とは？」と海に対する思いを聞きました。</p> <p>「安心するところ」「楽しいところ」「宝物です」「かけがえのないもの」「豊かな恵みを与えてくれるもの」「たのしいところ」「心が落ち着くところ」「県民の宝」「いろいろな魚がすむところ」「最高の癒し」「家」「仕事の場」「私たちが生きていく上で、大切なところ」。みなさん海に対する様々な思いを持っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-----------------------|-------------------|--------|
| 7月9日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A04 |
| 動画タイトル | さがっ子リレー放流 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 子どもたちの取り組みについて放送しました。</p> <p>肥前子ども教室の子どもたちが「さがっ子リレー放流」を行いました。 今年で14年目の開催となる「さがっ子リレー放流」は、海をより美しく豊かな状態で次の世代に引き継いでいくことを目的に、子どもたちが県内各地で魚を放流するイベントです。 今回は唐津市肥前町の菖津漁港で32人の子どもたちがカサゴの稚魚約600尾を放流しました。 参加した子どもたちは「おさかなさん大きくなってね！」と稚魚の成長を願っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 7月10日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A05 |
| 動画タイトル | さわる！学ぶ！ミニ水族館 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 今年オープンした施設の話題を放送しました。 有明海を望む干潟交流会館の2階に有明海に生息する魚を展示するミニ水族館があります。 ムツゴロウ、シオマネキ、クラゲなど、たくさんの水槽があり、展示水槽以外にも有明海の生物に触れて学べるタッチプールもあります。 バックヤードにはほかにもたくさんの魚が飼育されており、飼育状態が整えば、展示されているものと入れ替えられます。 ミニ水族館の来場者は「今後子どもが海の魚とか干潟に対して興味を持ってくれればいいかなと思います。」と感想を話していました。 海に生きる生き物を知ることによって有明海の見え方が今までと変わってくるかもしれません。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 7月16日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海広援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A06 |
| 動画タイトル | 小川島発！海ゴミプロジェクト！ |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>中学生が日ごろから行っている熱心な取り組みを放送しました。</p> <p>唐津市小川島にある小川小中学校の全校生徒8人が各地で問題となっている海洋ごみの啓発活動を行っています。</p> <p>海岸に落ちていた海洋ごみで鯨のオブジェを作ったり、島の魅力や島が抱える漂着ゴミ問題などを伝える啓発動画を作成したりしています。</p> <p>今回は海岸の清掃活動とがぜ採りを行いました。</p> <p>生徒は「掃除しても掃除してもゴミが流れてくるので、僕たちが作った動画やオブジェでゴミの現状を知ってもらって、ポイ捨てしない意識を持って欲しい」と思いを語っていました。</p> <p>小川島の生徒たちは、島を愛する思いをこれからも発信していきます。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 7月17日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A07 |
| 動画タイトル | がたっ子七リンピック |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>小学生の干潟上でのバトルを放送しました。</p> <p>鹿島市立七浦小学校で「がたっ子七リンピック」が開催されました。</p> <p>全校生徒が「潟スキー競争」や「ガタソーラン」など、干潟ならではの競技に出場しました。</p> <p>熊本校長は「目の前に干潟が広がっているながら、普段入る機会はなかなかない。地域の特性を活かした特色ある行事として大事に続けていきたいと思う。」と話していました。</p> <p>干潟で楽しみながら、有明海の豊かな自然に触れるこの行事は、子どもたちが地元の海に親しむきっかけとなっています。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 7月23日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A08 |
| 動画タイトル | 海のカーニバルinからつ |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 毎年恒例イベントを放送しました。 今年も「海のカーニバルinからつ」が開催されました。 海を感じ、海を味わい、環境を考えるこのイベントでは、唐津海上技術学校によるモーターボートの体験試乗会や、ふわふわ遊具、海上保安部と水難救済会が共同で行う海難救助訓練など、様々な催しがありました。 海は楽しい場所ですが、時に危険な事故が起きる場合もあります。 海難救助訓練を行った海上保安部の隊員は、「釣りをしたり船に乗ってレジャーを楽しむ際は必ず救命胴衣を着用してほしい。 そうすれば何らかの不意の事故によって海中転落した場合でも浮いて待つことができるのでまだ助けられる余地がある。」と海で楽しむ際の注意を語っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 7月24日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A09 |
| 動画タイトル | うみぽすグランプリ2019 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 うみぽすグランプリについて放送しました。 7月14日に開催された「海のカーニバルinからつ」の会場内で、「うみぽすグランプリ2019」が開催されました。 「うみぽすグランプリ」は、地元の海に人を集めることを目的とした地方創成プロジェクトです。「ポスター部門」「動くポスター部門(動画)」「絵てがみ部門」の3部門で募集します。 今年は「この海に来て」「海を守りたい」「おいしい海」というテーマで絵を描きました。 絵を描いた子どもたちは「海が好きじゃない人に好きって思ってもらいたい。」「唐津の海の絵。きれいだったからだれでも見てほしい。」と絵に込めた思いを話していました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 7月30日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A10 |
| 動画タイトル | 有明海のいきものアクアリウムをつくろう！ |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>夏休みの子ども体験企画を放送しました。</p> <p>鹿島市干潟交流館のミニ水族館で、「有明海の生きものアクアリウムをつくろう」が開催されました。子どもたちは、有明海のどんな生きものを飼育するか決め、その生きものに合った環境の水槽を作りました。</p> <p>鹿島市干潟交流館指導員の藤井さんは、「ぜひ海の生きものを飼ってほしい」と思い企画した。</p> <p>見るだけではなかなか伝わらないので、飼育することによっていろんな行動が分かる。有明海の生きものを知ってほしい。」と話していました。</p> <p>子どもたちは、マエビやシラタエビなどを持ち帰り、作ったアクアリウムに入れて飼育します。</p> <p>長い夏休みをいかし、生物と有明海のことを考える良い経験になることでしょう。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 7月31日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A11 |
| 動画タイトル | 海のそなえ |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 海の備えについてインタビューをし啓発を行いました。</p> <p>海のレジャーを楽しむため、多くの人々が海へと訪れます。 しかし、海は危険な事故につながる場所でもあります。 唐津マリン青バイ隊は水上バイクに乗り、唐津の海水浴場を訪れる人たちを見守っています。</p> <p>唐津マリン青バイ隊の隊員は「海に来る方は楽しく遊ぼうと来られるが、海はきれいな反面、様子をすぐに変えてしまう怖さがある。」と話していました。 また、自分の身を守るためのそなえとして、「お酒を飲んで海に入らない」「疲れている時は海に入らない」「健康面が不安な時は海に入らない」と注意を促していました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-----------------------|-------------------|--------|
| 8月5日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A12 |
| 動画タイトル | さが総文干潟体験 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 全国の高校生が初の干潟を満喫している様子を放送しました。</p> <p>文化部のインターハイとも呼ばれる全国総合文化祭で佐賀に集まった高校生たちが有明海を訪れました。 干潟は初めてという人がほとんどです。「セメントというか粘土というか、触ったことがない感覚。干潟って深い！」「柔らかくて気持ちいいです。沈むのでいいトレーニングになります。」「沖縄の海にもこんな感じの所があるので近いと思ったけど、泥の質が全然違ったのですごいと思った。」など、初めて干潟に入った感想を話していました。また、自然科学系の部活動の人たちは、有明海の生き物に興味津々の様子でした。地元の海とは違う有明海の良さを知るいい機会になりました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-----------------------|-------------------|--------|
| 8月6日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A13 |
| 動画タイトル | 唐津海上技術学校オープンスクール |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>将来の海上保安庁を担うかもしれない中学生たちのオープンスクールについて放送しました。</p> <p>唐津海上技術学校のオープンスクールに県内外から多くの中学生が訪れました。参加した中学生たちは船内設備の見学、海図の読み方、操船体験、さらに海での安全に欠かせないロープワークも体験しました。</p> <p>海上技術学校の先生は「将来海で働くことが素晴らしいことだと感じてほしい。しかし、海の中ではいろいろな制約があるということ。海に対して恐れもあるということを感じてほしい。」と話していました。</p> <p>また、参加した中学生は「小さい頃から海が好きで、将来海に関する仕事がしたいと思っています。海を走る船などが本当に好きで、海上自衛隊や海上保安庁などに入って海を守りたいと思います。」と語っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 8月13日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海広援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A14 |
| 動画タイトル | 鹿島市こどもラムサール観察隊 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>次世代の海を守る子供たちの取り組みについて放送しました。</p> <p>ラムサール条約湿地に登録されて4年が経った有明海の干潟で「鹿島市こどもラムサール隊」が生物調査を行いました。</p> <p>鹿島市こどもラムサール隊は、様々な自然体験を通して干潟のこと、有明海のことを考えて次世代につながるリーダーを育成していく団体です。</p> <p>この日は干潟に入っでの生物採集と調査を行いました。その他にも県外の博物館見学や海につながる山での体験学習などの活動も行っています。</p> <p>参加した子どもは「新しい発見がありそうだから入りました。有明海は他には全然ない海。」と話していました。</p> <p>有明海について知ることで、海に対する理解を深め、自然や海を大切にする心が育まれていきます。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 8月14日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海広援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A15 |
| 動画タイトル | シチメンソウの異変 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>異変が起きているシチメンソウの調査活動について放送しました。</p> <p>現在、東与賀海岸のほとんどのシチメンソウが立ち枯れています。</p> <p>シチメンソウはアカザ科の一年草の植物で、塩水にも耐える塩生植物です。</p> <p>シチメンソウの立ち枯れの原因を探るため、佐賀大学農学部郡山准教授率いるグループが調査を始めました。</p> <p>郡山准教授は「実はまだ立ち枯れの原因はよくわかっていない。泥の分析をやってみて昨年起こった立ち枯れを検討してみよう」と計画している。</p> <p>今の環境がそのまま続くということではなく、干潟の環境に応じてシチメンソウやほかの生物も移り変わっていく。珍しい生き物もいるのでまずは来てもらって興味を持っていただきたい。」と話していました。</p> |

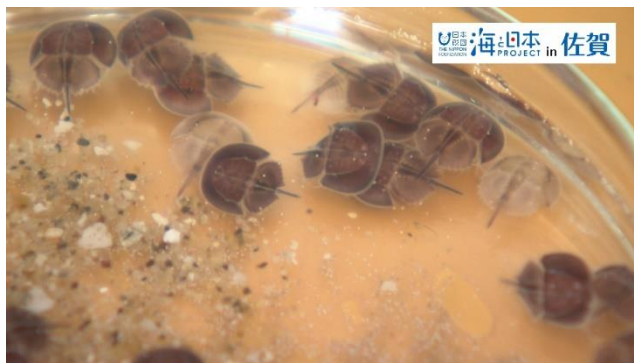
| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 8月20日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A16 |
| 動画タイトル | 生きている化石 カブトガニ放流 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 絶滅危惧種を救う活動を放送しました。</p> <p>日本最大のカブトガニ生息地の伊万里市多々良海岸でカブトガニ放流が行われました。放流するのは1cmほどの幼生です。 多々良海岸で生まれた卵を子どもたちが育てました。伊万里市教育委員会生涯学習課の一本さんは、カブトガニ放流の意義を「まずカブトガニは絶滅危惧種なので増殖するため。それから、子どもたちが命を育て倫理道德に関して学ぶこと。そして地元の人たちにカブトガニがとても貴重で保護していく価値があると認識していただくこと。」と話していました。 参加した子どもたちは「多々良海岸はカブトガニが産卵しに来てくれるところ。とてもいい海岸だと思う。」「綺麗な海にしていきたい。」など思いを語っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 8月21日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A17 |
| 動画タイトル | 玄海セーリングクラブ |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 海のレジャー体験について放送しました。 「玄海セーリングクラブ」ではヨットやSUP、クルーザーなど、一味違う海のレジャーが体験できます。 今回参加したのは毎年、イベントへの参加を楽しみにしている地元のキッズクラブの子どもたちです。 玄海セーリングクラブの吉原さんは「海があるにもかかわらず、学校教育や地域活動で海に接する機会が少ない。海での楽しみ方を体験できるような場を設けて、海に接する機会が増えていけばいい。」と思いを語っていました。 参加した子どもたちは「前は漕げなかったけど今日は漕げた。」「風が吹いて速くなるのが楽しかった。」など感想を話し、海を楽しむことで改めて海の素晴らしさを知ったようでした。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 8月27日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|---------------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A18 |
| 動画タイトル | スポごみ甲子園 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 今年初開催のスポごみ甲子園佐賀大会について放送しました。</p> <p>「スポGOMI甲子園佐賀県大会」が開催されました。 「スポGOMI」とは、ゴミ拾いに競技性を持たせ楽しめるようにしたエコなスポーツです。高校生が3人一組になり、制限時間内にゴミ拾いを行い、拾ったゴミの種類と量で競い合います。 今回は8チーム24人の高校生が参加し、60分間、虹の松原とその周辺の海岸のごみ拾いを行いました。 優勝したのは「厳木高校Aチーム」です。県大会で優勝したチームは東京で行われる全国大会に出場します。 「厳木高校Aチーム」の生徒は「東京に行ってもゴミ拾いを一生懸命頑張って優勝したいです。」と全国大会へ向けた意気込みを語っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 8月28日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A19 |
| 動画タイトル | 親子で学ぶ！有明親子探検隊 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 親子で有明海を学ぶ探検イベントについて放送しました。</p> <p>親子で船に乗って有明海を探検する「有明親子探検隊」が開かれました。最初に有明海の伝統漁法や生息する生き物について学びます。 その後、船に乗り、有明海の水温や塩分を随時計測する「海況自動観測タワー」や伝統漁法の「あんこう網漁」を見学しました。 あんこう網漁見学では、網を引く体験も行いました。参加した子どもたちは「エイリアンみたい」「意外とおっきい」「ぶによぶによです！」など魚を触った感想を話していました。また、参加した保護者は「初めて触ったエイの口に歯があった。触らないと分からないところが分かったのですごく良かった。」と話し、親子にとって新しい発見がある一日になったようです。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-----------------------|-------------------|--------|
| 9月3日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|---------------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A20 |
| 動画タイトル | 漁師さんたちの有明海クリーンアップ作戦 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 漁師さんたちの清掃活動について放送しました。</p> <p>有明海の広江漁港で漁業関係者が「有明海クリーンアップ作戦」を行いました。 有明海クリーンアップ作戦は毎年開かれており、有明海を暮らしの拠点とする漁業関係者が総距離97kmの有明海の海岸線を清掃しています。 今回は1600人を超える漁業関係者が参加しました。 参加者たちは「今年はゴミが少ないが、毎年ゴミはある。雨が降ったら上流から流れてくるから下流でゴミを清掃しないといけない。」「有明海は生活する場所になっているからゴミがない海がいい。」などと話していました。</p> <p>海には様々なものが流れ着くため、漁業関係者だけでなく1人1人が海に対する意識を高めていくことが大切です。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-----------------------|-------------------|--------|
| 9月4日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A21 |
| 動画タイトル | 親子で体験！さばける塾in佐賀 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 さばける塾の活動について放送しました。</p> <p>日本財団主催の『さばける塾』が開催されました。 さばける塾とは、親子で魚をさばく体験を通して、食の大切さと海の恩恵を学んでもらう取り組みです。佐賀県会場では呼子名物のイカをさばきました。 参加した親子は「魚を触ったことがないのでやらせてみようと思った。」「イカを切ったのは初めてだった。 イカはこんな風に来てたんだなと思った。」と話していました。 また、講師の先生は「パックに入っているのが魚だと思われる。生きているものであれば命を頂くという気持ちも芽生えてくると思う。触って料理を楽しんでほしい。」と思いを語っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 10月1日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海広援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A22 |
| 動画タイトル | 垣根を超えて！東よか干潟底生生物調査 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 干潟の大規模調査について放送しました。</p> <p>東与賀干潟で佐賀大学、自然史研究会、佐賀市などの様々な調査隊が連携調査を行いました。 4年前から年2回、各団体が連携し干潟の調査を行っています。2日間かけて、干潟の成分調査や生物採集などを行います。 この日はガタスキーを使い、沖の方まで調査を行いました。 自然史研究会の副島さんは「たくさん目で見るといって見落としがない。環境はいい方向か悪い方向かわからないが刻々と変化している。 干潟に入るといろんな生物の生活が見えてくると思うので、干潟をよく知らない人たちにそれを感じてほしい。」と話していました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|------------------------|-------------------|--------|
| 10月2日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A23 |
| 動画タイトル | 唐津お魚まつり |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 地元一丸となって取り組むお魚まつりについて放送しました。</p> <p>唐津港沿岸物市場で「唐津お魚まつり」が開催されました。 唐津お魚まつりとは、玄海の新鮮な魚に親しんでもらおうと唐津市と地域の様々な団体が一丸となり行っているイベントです。 素早く逃げってしまうエビを捕まえる「活きエビキャッチ」や、イカ、アジなどの魚を袋に詰める「お魚詰め放題」などの催しが行われました。 参加者は「普段スーパーなどで切り身とかでしか魚を見たり触ったりする機会がないのでとても貴重な体験だった。」「きれいな海があると新鮮な魚がたくさん獲れるので自然のありがたみを感じる。子どもたちも環境などにも興味を持ってくれたらと思う。」と感想を語っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-------------------------|-------------------|--------|
| 10月15日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | | |
|-------------------------|--|--------|
| 動画ID | 佐賀県-A24 | |
| 動画タイトル | 島おこし！宝当てんぷら | |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 海の恵みが詰まった地元の名物料理で島おこしに取り組む活動について放送しました。</p> <p>唐津市高島で玄海漁協高島支所の女性部が「宝当てんぷら」を作りました。 宝当てんぷらは新鮮な魚のすり身をたっぷりと使い、香ばしく揚げられ、中はぷりぷりとした食感です。 玄海漁協高島支所女性部の野崎さんは「高島で魚が獲れ、お客さんがたくさん宝当神社にお参りに来るから、何か島の名産となるものを作ろうと思った。」と話していました。 また、玄海漁協高島支所女性部の古泉さんは「骨などもミンチにしている食べやすいので、魚嫌いの子どもたちにも食べてもらいたい。」と話していました。 海の恵みが詰まった宝当てんぷらは、高島の魅力を伝える島おこしのひとつとして期待されています。</p> | |
| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
| 10月16日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A25 |
| 動画タイトル | 海鮮丼を作ろう！まいうみ探検隊 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 オリジナルイベントについて放送しました。</p> <p>体験を通して有明海のことを学ぶ「まいうみ探検隊」が今年も開催されました。今年のテーマは「有明海恵み丼を開発しよう」。有明海にはどのような生き物が住んでいて、どのような恵みがあるのかを専門家の講義を受けて学んだあと、自分たちで考えたオリジナル海鮮丼を作りました。</p> <p>参加した子どもたちは「他県の人が食べて有明海のお魚のおいしさを分かってもらえる丼を作りたい。」と意気込みを語り、「有明海はお魚が多くてとても美味しい魚が育っている海だと思った。」と感想を語っていました。</p> <p>子どもたちは有明海の恵みをのせた海鮮丼を作り、より一層海への理解と感謝を深めたようでした。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-------------------------|-------------------|--------|
| 10月22日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|---------------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A26 |
| 動画タイトル | 海の幸いっぱい 離島のレストラン |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 故郷のために離島のレストランを営む男性について放送しました。</p> <p>唐津の離島、松島に「レストランテマツシマ」という軒のレストランがあります。レストランテマツシマでは、島の漁師が獲ってきた新鮮な海の幸をイタリアンにして提供しています。オーナーシェフの宗さんは「自然豊かな松島のことが好き。</p> <p>だんだん人口も少なくなってきた松島の島おこしをしたいと思います、松島でレストランをしている。ふるさとの海は私が料理の道に進むきっかけになった海。松島の海は島の人の生活のすべてでありかけがえのないもの。</p> <p>透き通って綺麗で魚や海産物が豊富な豊かな海になってほしい。」と島と海に対する思いを語っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-------------------------|-------------------|--------|
| 10月23日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海広援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A27 |
| 動画タイトル | 自然の恵み 清流玉島川鮎まつり |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 海と川のつながり学ぶ鮎まつりについて放送しました。</p> <p>唐津市にある玉島川の河川敷で「清流玉島川鮎まつり」が開催されました。玉島川は6月になると鮎漁が解禁になり、シーズン中、釣り人たちが集います。今年で20回目を迎える清流玉島川鮎まつりでは旬の鮎とやまめを味わうことができます。</p> <p>玉島川鮎まつり実行委員会の檜崎さんは「九州の方、佐賀の方はもちろんのこと、全国の方にも玉島川の鮎を知っていただきたい。」と思いを語り、鮎などが住む環境について「川や海に自分のごみを捨てないというのが一番。」と話していました。</p> <p>鮎は、川とつながる海で過ごす期間もあります。 海や川に住む生き物が生きていく環境を守るために一人一人ができることから始めることが大切です。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-------------------------|-------------------|--------|
| 10月29日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A28 |
| 動画タイトル | 出張ブース！見て！触って！佐賀さいこうフェス |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 推進パートナー事業関連のイベントについて放送しました。</p> <p>今年も「佐賀さいこうフェス」が開催され、会場には「海と日本PROJECT」のブースも開設しました。 ブース内では海の現状を伝え、海を未来へつないでいくためのアクションの輪を広げる佐賀県のプロジェクトを放送。 有明海の生き物に触れて学べる体験コーナーは子どもたちでにぎわいました。</p> <p>会場で生き物の説明をしていた佐賀大学農学部藤井特任教授は「佐賀の人たちは意外と海に行く機会がない。毎年一回でもいいので海へ行って関心を持って、自分たちの生活に海が関わっているということを理解してほしい。」と話していました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-------------------------|-------------------|--------|
| 10月30日(水曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|--|
| 動画ID | 佐賀県-A29 |
| 動画タイトル | 宝の海を取り戻せ 海の森 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 漁師たちの取り組みについて放送しました。 有明海に「海の森」と呼ばれる場所があります。</p> <p>海の森とは漁師たちが海の幸豊富な宝の海を取り戻すために海に竹を刺して作ったものです。 佐賀大学の藤井特任教授は 「竹を刺すことで生き物が住み着きやすくなる。 特に貝類の幼生が竹にくっつくため、生き物が育つ環境になる。」と海の森の効果を話します。 有明海で漁をする杉町さんが宝の海を取り戻すために海の森を作る協力を仰いだところ「海は繋がっている。だからみんなでやろう。」とほかの地区の漁師たちも一緒に活動することになりました。 杉町さんは「喜んで行きたくなるような海になることを願っている。」と思いを語っていました。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-------------------------|-------------------|--------|
| 11月26日(火曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



3-(2) 海応援動画詳細

| | |
|--------|---|
| 動画ID | 佐賀県-A30 |
| 動画タイトル | 有明海の魅力を発信！まえうみ海鮮丼販売 |
| 内容 | <p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 推進パートナー事業関連について放送しました。 12月14日、15日に道の駅鹿島で海鮮丼が限定販売されました。 この海鮮丼は10月に開催された「まえうみ探検隊」で子どもたちが考えたものです。</p> <p>ウナギや海苔、シバエビなどの有明海の食材を使っています。 まえうみ探検隊で子どもたちは 「色とりどりでいろんな海鮮が入っているという特徴がある。」 「有明海が全国の人に知られて資源もたくさんとれるような良い海にしていきたい。」 と話していました。</p> <p>海鮮丼を購入したお客さんは 「具たくさんでいろいろのっけていて見た感じも楽しい。」 「アイデアが詰まっていて佐賀・鹿島を盛り上げたいという気概が伝わってくる。」 と感想を語っていました。</p> <p>地元の海を大切に思う心が、美しい海を作ります。</p> |

| 放送日時 | 放送番組名 | 放送尺(秒) |
|-------------------------|-------------------|--------|
| 12月26日(木曜日) 11:25~11:30 | 海と日本PROJECT in 佐賀 | 120秒 |



事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

4.プロジェクト訴求映像 制作・放送

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

4-(1) プロジェクト訴求映像リスト

| 動画ID | 動画タイトル | 放送期間 | 放送回数 |
|---------|----------|-----------------------|------|
| 佐賀県-B01 | 海を体験する機会 | 2019/07/14～2019/08/31 | 68回 |
| 佐賀県-B02 | 海のそなえ | 2019/08/09～2019/08/31 | 96回 |
| 佐賀県-B03 | 海ごみ対策 | 2019/06/01～2019/08/30 | 96回 |


4-(2) プロジェクト訴求映像詳細

| | |
|--------|---------------------------------|
| 動画ID | 佐賀県-B01 |
| 動画タイトル | 海を体験する機会 |
| 放送時期 | 2019年7月14日(日曜日)～2019年8月31日(土曜日) |
| 放送回数 | 68回 |



あなたにとっての海とはなんですか？

「安心するところです」
「かけがえのないものです」
「心が落ち着くところ」
「最高の癒し」

海と日本  共通サウンドロゴ

4-(2) プロジェクト訴求映像詳細

| | |
|--------|--------------------------------|
| 動画ID | 佐賀県-B02 |
| 動画タイトル | 海のそなえ |
| 放送時期 | 2019年8月9日(金曜日)～2019年8月31日(土曜日) |
| 放送回数 | 96回 |



お酒を飲んで海に入らない

疲れている時に海に入らない

泳いでいても、体調に異変を感じたら
足の届くところへ行って
楽しんでいただくなどですね

海と日本 ♪ 共通サウンドロゴ

4-(2) プロジェクト訴求映像詳細

| | |
|--------|--------------------------------|
| 動画ID | 佐賀県-B03 |
| 動画タイトル | 海ごみ対策 |
| 放送時期 | 2019年6月1日(土曜日)～2019年8月30日(金曜日) |
| 放送回数 | 96回 |



海が汚れているとかいうので
海をきれいにできる活動ないかなって

海は世界とつながっています!

世界の海をきれいにしよう!

海と日本 共通サウンドロゴ
(CHANGE FOR THE BLUEのロゴ)

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

5.知事・市区町村長からのメッセージ

5 知事・市区町村長からのメッセージ詳細

| No | エリア | 氏名 | メッセージ内容 |
|----|-----|--------|--|
| 1 | 鳥栖市 | 橋本康志市長 | 鳥栖市は、佐賀県東端に位置し、交通の要衝として栄え、利便性の高さから企業進出が相次ぐ元気な街です。脊振山地を源とする河川が市内を流れ、市境の一級河川筑後川となって、やがて有明海へ注がれています。私たちの生活は海がもたらす水の循環によって支えられており、山や河川の環境を守ることは豊かな海を守ることに繋がります。この「海と日本プロジェクト」の活動によって、ますます環境保全の意識向上に繋がることを祈念いたします。 |
| 2 | 神崎市 | 松本茂幸市長 | 神崎市は、佐賀県東部に位置し、北は県内屈指の標高を誇る脊振山がそびえ、南は有明海に注ぐ筑後川の最下流域に接するところの山から海を有し、平たん部は佐賀平野の一部を占める「まち」です。 このため、米・麦・大豆をはじめ、苺・アスパラガス・ネギ・ナス等の施設園芸が、また、有明海の海苔・魚介類に、山麓の椎茸・筍や高冷地野菜が豊富に収穫されています。健全な自然こそ人々の生活を豊かにする最大の要素と自覚するものです。 「海と日本プロジェクト」の趣旨に賛同し、未来永劫、健全な環境保全を強く念願します。 |
| 3 | 太良町 | 永淵孝幸町長 | 太良町では、豊饒の海有明海といわれるように(カニ・海苔・タイラギ・アゲマキ・コハダ・クルマエビ・アサリ・カキ・クチゾコetc...)豊富な海の幸に恵まれ、その恩恵を受けながら生活してきました。 しかし、現在は海況の変化に伴い、漁獲量は低下し豊饒とは程遠い状況となり、それとともに漁家数も減少し、漁港もかつての活気を失ってしまっている状況です。 太良町としても、水産業の振興策とともに海や、海を取り巻く環境の改善を推進しているところです。 この「海と日本プロジェクト」を通じて海辺の環境保全のさらなる推進が図られますことを強く期待しております。 |



1.鳥栖市 橋本市長市長



2.神崎市 松本茂幸市長



3.太良町長 永淵孝幸町長

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

6.本部・他助成事業との連携企画

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

6-(1) 本部・他助成事業との連携企画リスト

| 開催日 | イベント名 |
|-----------------------|---|
| 2019年5月27日(月)~7月3日(水) | CHANGE FOR THE BLUE (海ごみゼロアワード・海ごみゼロウィーク) |
| 2019年7月14日(日) | 海洋連盟「うみぼすグランプリ」 |
| 2019年8月10日(土) | スポGOMI甲子園(佐賀大会) |
| 2019年9月14日(土) | さばける塾in佐賀(日本さばけるプロジェクト) |
| 2019年12月10日(火) | 海と日本ニュースプロジェクト2019 |

6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

| | |
|-----------|---|
| イベント名 | CHANGE FOR THE BLUE (海ごみゼロアワード・海ごみゼロウィーク) |
| 内容 | “これ以上海にごみを出さない”という社会全体の意識を高めるムーブメントを起こすため、産官学民からなる12のステークホルダーと連携し、海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信するプロジェクト「CHANGE FOR THE BLUE」と下記の取組を行った。 |
| 海ごみゼロアワード | <p>海洋ごみ対策に関して、優れたモデルとなるような取り組みを募集。 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会では、またアワードの応募促進をすることでプロジェクトの成功に寄与した。</p> <p>■応募団体名 ・みんなの海プロジェクト ・鹿島市こどもラムサール観察隊 ・小川中学校</p> <p>■取材・放送情報 7月3日に「海と日本PROJECT in佐賀」内で海ごみゼロアワードの取材動画を放送。</p> |
| 海ごみゼロウィーク | <p>5月30日(ごみゼロの日)～6月8日(世界海洋デー)前後までを海ごみゼロウィークと定め、海洋ごみ削減のためのアクションを一齐に実施。佐賀実行委員会では参加募集告知を行うとともに、プロジェクトに賛同する企業・団体とごみ拾いを行った。</p> <p>■総参加人数:1075名(ウィーク期間外含む) ■取材・放送情報 7月2日に「海と日本PROJECT in佐賀」内で海ごみゼロウィークの様子を放送。</p> |

■海ごみイベント実施リスト

| No | 団体名 | 実施日時 | 開催場所 | 参加人数 | ゴミの数 |
|----|-------------|----------------------------|------|------|----------|
| 1 | 玄海町 | 2019年6月2,7日 16:00～18:00 | 玄海町内 | 900人 | ゴミ袋235袋分 |
| 2 | サガテレビ | 2019年6月4日 9:00～9:30 | 佐賀市内 | 30人 | ゴミ袋19袋分 |
| 3 | エンターアイと地域住民 | 2019年6月9日 10:00～12:00 | 佐賀市内 | 20人 | ゴミ袋23袋分 |
| 4 | エスプロ | 2019年5月30日 9:00～9:30 | 佐賀市内 | 15人 | ゴミ袋16袋分 |
| 5 | 龍谷幼稚園と龍谷高校 | 2019年5月27日 16:00～18:00 | 佐賀市内 | 100人 | ゴミ袋24袋分 |

■海ごみイベント写真



①玄海町



②サガテレビ



③エンターアイと地域住民



④エスプロ



⑤龍谷幼稚園と龍谷高校

6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

| | | | |
|-------|---|---------------------------------|-----------------------------------|
| イベント名 | 海洋連盟「うみぼすグランプリ」 | | |
| 連携内容 | 海洋連盟主催の地元の海に人を集めることを目的とした参加型地方創生プロジェクト「うみぼすグランプリ」の募集告知及び選考、ワークショップを行った。 唐津市の唐津東港まつり「海のカーニバル」内でワークショップ実施。 ■応募総数:50 ■入賞数:3 | | |
| 実施事項 | ①募集告知 | 2019年6月17日(月)～ 2019年7月12日(金) | 海のカーニバルイベントチラシ記載 イベント実施募集チラシ配布 |
| | ②ワークショップ | 2019年7月14日(日) | 場所:唐津市東港 参加:40名 |
| | ③エリア賞選考 | 2019年9月20日(金) | サガテレビ本社 |
| | ④ポスター活用 | 実施なし | 実施なし |



6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

| | |
|-------|--|
| イベント名 | スポGOMI甲子園(佐賀大会) |
| 開催日 | 2019年8月10日(土曜日) |
| 時間 | 10:00~12:00 |
| 開催場所 | 唐津市東の浜海浜公園 |
| 参加人数 | 24人 |
| 連携内容 | <p>高校生に海洋ごみ問題を自分事化してもらうため、「海と日本プロジェクト スポGOMI 甲子園」と題し、高校生を対象に全国25都道府県の代表を決めるスポGOMI大会に、エリアとして参加校の募集および実施場所の調整と、地方大会の運営サポート、地方大会の取材を行った。</p> <p>佐賀エリアの予選には8チームが参加した。</p> <p>■取材・放送情報 8月28日に「海と日本PROJECT in佐賀」内でスポGOMI甲子園の様子を放送。</p> |



6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

| | |
|-------|--|
| イベント名 | さばける塾in佐賀(日本さばけるプロジェクト) |
| 開催日 | 2019年9月14日(土曜日) |
| 時間 | 14:00~17:00 |
| 開催場所 | 佐賀市西九州大学佐賀調理製菓専門学校 |
| 参加人数 | 20人 |
| 連携内容 | <p>魚をさばくという行為を通じて、海への恩恵を感じてもらうためのイベント「さばける塾」を西九州大学佐賀調理製菓専門学校の協力の元、実施した。 親子10組が参加し、講師から指導を受けながら佐賀の名産、イカをさばいた。 海と日本プロジェクトの趣旨を説明し、海の現状も話すなどした。</p> <p>■メニュー ・いかめし ・いかしゅうまい ・いかの和え物</p> <p>■取材・放送情報 10月1日に「海と日本PROJECT in佐賀」内でさばける塾の様子を放送。</p> |



6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

| | |
|-------|---|
| イベント名 | 海と日本ニュースプロジェクト2019 |
| 納品日 | 2019年12月10日(火曜日) |
| 連携内容 | 地域の海についてテーマに沿って取材を行い、ソーシャルイノベーションニュースのサイトへ掲載できるよう納品した。 |
| 動画内容 | <p>【海の生物の危機】</p> <p>漁師さんたちが竹をさす映像 有明海に「海の森」と呼ばれる場所があります。海の森とは漁師たちが海の幸豊富な宝の海を取り戻すために海に竹を刺して作ったものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明海漁協不組合理事 杉町省二郎さん 「貝でも魚でも何でも獲れた。宝の海だった」 ・漁獲量の変化がわかるグラフ ・佐賀大学の藤井特任教授 <p>「竹を刺すことで生き物が住み着きやすくなる。特に貝類の幼生が竹にくっつくため、生き物が育つ環境になる。」と海の森の効果を話します。</p> <p>杉町さんが宝の海を取り戻すために海の森を作る協力を仰いだところ「海は繋がっている。だからみんなでやろう。」とほかの地区の漁師たちも一緒に活動することになりました。</p> <p>杉町さんは「喜んで行きたくなるような海になることを願っている。」と思いを語っていました。</p> |



事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

7.オリジナルイベント

7-(1) オリジナルイベント開催概要

| | |
|----------|--|
| イベントタイトル | 「まえうみ」探検隊～有明海恵井を開発しよう～ |
| イベント概要 | <p>干満差が日本一で、国内最大級の干潟があり、宝の海として親しまれている「有明海」。</p> <p>有明海では、ムツゴロウなどの特有のまえうみもんが生息しています。</p> <p>子どもたちには、有明海の現状やまえうみもんを守るための地元の人の取り組みについて学んでもらい、佐賀県に住んでいる自分たちとして有明海に対し想いを深めてもらいます。</p> <p>オリジナル海鮮丼を考案し、「有明海の恵みに感謝」することを子どもたちが感じられるようなイベントを実施しました。</p> |
| 実施期間 | 2019年10月12日(土曜日) |
| 開催場所 | 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 |
| 参加人数 | 19人 |
| 主催 | 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会 |
| 共催 | なし |
| 協力 | 佐賀県有明海漁業協同組合 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 |
| 事業目標 | <ol style="list-style-type: none"> 「まえうみ」探検隊の結成 佐賀県全域から小学5～6年生を20名募集 「まえうみ」探検隊によるワークショップ① 参加小学生に有明海の環境の変化などについて理解を深めてもらう 「まえうみ」探検隊によるワークショップ② 参加小学生に学んだことなどをもとに「有明海恵み井」を考案してもらう 「まえうみ」探検隊によるワークショップ③ 参加小学生に「有明海恵み井」を作ってもらう 参加小学生にグループ別で作った海鮮丼を一つの海鮮丼にまとめてもらう 「有明海恵み井」を販売 道の駅鹿島の協力のもと販売し、「有明海恵み井」を周知するとともに子どもたちの想いなどもわかってもらえるよう販売する。 |

7-(2) イベント詳細(当初の予定)

| イベント詳細 | |
|--------|---|
| | <p>1.「まえうみ」探検隊の結成 (1)時期:2019年9月10日(火)~2019年9月20日(木) (2)募集:佐賀県全域から小学5-6年生を20名募集</p> <p>2.「まえうみ」探検隊によるワークショップ① (1)時期:2019年9月21日(土) 10:00~12:00 (2)場所:佐賀県鹿島市 (3)内容:有明海とはどんな海なのか、有明海は(過去)どのような海から(未来)どのような海になりそうなのか、有明海健康状態を知るには生き物の様子を見ることでわかることがあるなど有明海環境の変化などについて理解を深めてもらった。干潟の観察、タッチプールで生き物観察などを通じて「有明海の生き物を食すること」がなぜ、「有明海のことを考えることにつながるのか」を伝える</p> <p>3.「まえうみ」探検隊によるワークショップ② (1)時期:2019年9月21日(土) 13:00~17:00 (2)場所:佐賀県鹿島市 (3)内容:佐賀海苔、干潟体験を通じて、地元の活動も知ってもらう。佐賀海苔について現状、取り組みなど講師を招いて、日本一の佐賀海苔の秘密を学び、干潟体験することで有明海をより知る。グループに分かれ翌日の海鮮丼をどうするか話し合いとレポート作成。</p> <p>4.「まえうみ」探検隊によるワークショップ③ (1)時期:2019年9月22日(日) 8:00~10:30 (2)場所:佐賀県小城市 (3)内容:漁師さんから漁の苦労話含め、海への想いを話してもらう。ライフジャケットの必要性なども説明。船3隻に分かれ漁場へ向かい、漁体験</p> <p>5.「まえうみ」探検隊によるワークショップ④ (1)時期:2019年12月15(土)~16日(日) 12:00~17:30 (2)場所:佐賀県佐賀市 (3)内容:調理学校に移動し、講師の先生から味付け、調理方法、見栄えなども重要になるなど学ぶ。2日間学んできた有明海の魚を「食べる」ことも考えられるように。グループで「有明海恵み丼」を考案してもらう。具材の種類や量なども学んだことをもとに子どもたちの想いを詰めて考案してもらう。グループで「有明海恵み丼」を作ってもらう。グループごとにどういう意図でこの丼を作ったのか発表してもらい、それぞれで意見を出しながら、最終的に一つの海鮮丼にまとめてもらう。</p> <p>6.「有明海恵み丼」を販売 (1)時期:2019年10月 (2)場所:佐賀県鹿島市 (3)内容:道の駅鹿島の協力のもと限定販売。「有明海恵み丼」を周知し子どもたちの想いなどもわかってもらえるよう販売。</p> |

7-(2) イベント詳細(日程再調整後の実際の内容)

| | |
|--------|--|
| イベント詳細 | <p>1.「まえうみ」探検隊の結成 (1)時期:2019年10月1日(火)～2019年10月10日(木) (2)募集:佐賀県全域から小学5-6年生を20名募集</p> <p>※当初予定(9月21～22日)は台風17号接近により中止。 再度参加者を募集し2日間で実施予定(10月12～13日)が再び台風19号接近。台風17号で被害が大きかったため、実行委員会としても早めの中止判断が必要となり、またこのタイミングを逃すと冬季の実施になるため、安全を完全に確保できそうな1日に短縮した内容で実施。</p> <p>2.「まえうみ」探検隊によるワークショップ① (1)時期:2019年10月12日(土) 10:00～17:30 (2)場所:佐賀県佐賀市 (3)参加者:20名(小学5-6年生19名) (4)内容:有明海とはどんな海なのか、有明海は(過去)どのような海から(未来)どのような海になりそうなのか、有明海の状態を知るには生き物の様子を見ることでわかることがあるなど有明海の変化などについて理解を深めてもらった。有明海の小魚などの生き物観察も実施。</p> <p>3.「まえうみ」探検隊によるワークショップ② (1)時期:2019年10月12日(土) 10:00～17:30 (2)場所:佐賀県佐賀市 (3)参加者:20名(小学5-6年生19名) (4)内容:参加小学生に学んだことなどをもとにグループに分かれて「有明海恵み井」を考案してもらい、具材の種類や量なども学んだことをもとに子どもたちの想いを詰めて考案した。</p> <p>4.「まえうみ」探検隊によるワークショップ③ (1)時期:2019年10月12日(土) 10:00～17:30 (2)場所:佐賀県佐賀市 (3)参加者:20名(小学5-6年生19名) (4)内容:参加小学生に「有明海恵み井」を作ってもらい、グループごとにどういう意図でこの井を作ったのか発表してもらい、それぞれで意見を出しながら、最終的に一つの海鮮井にまとめてもらった。</p> <p>5.「有明海恵み井」を販売 (1)時期:2019年12月15(土)～16日(日) 10:00～14:00 (2)場所:佐賀県鹿島市 (3)内容:道の駅鹿島の協力のもと限定販売。「有明海恵み井」を周知し子どもたちの想いなどもわかってもらえるよう販売。 道の駅スタッフ「子どもたちが有明海のことを見て思っている」 購入者「アイデアが詰まっていて佐賀や鹿島を盛り上げたい 気概が伝わってくる」などの感想が寄せられた。</p> |
|--------|--|

7-(2) イベント写真

「まえうみ」探検隊によるワークショップ①



「まえうみ」探検隊によるワークショップ②





「まえうみ」探検隊によるワークショップ③



「有明海恵み井」を販売の様子



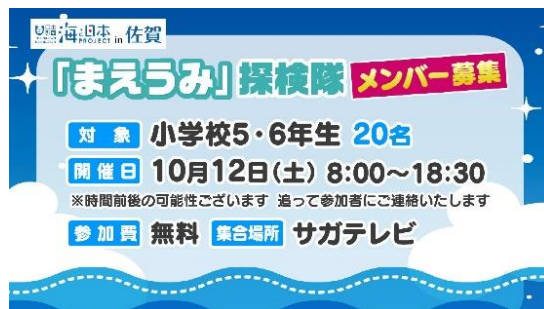
7-(3) その他

| | |
|-----------------------|--|
| <p>配布物</p> | <p>①有明海学ぶテキスト19部</p> <p>海には様々な問題が.....</p>  <p>②認定証(おほしんたろうさん作)</p>  |
| <p>目標の達成状況</p> | <p>1の達成状況:当日に1人キャンセルとなったため、19人参加となった。</p> <p>2の達成状況:有明海の特徴や変化、起きている問題点などについて考察しさらに自分たちがどうすべきかを一人一人が考えるなど学ぶことができた。</p> <p>3の達成状況:学んだことをもとに、漁獲量が少ないものは少しだけ使用するなど考えながら具材を決めるなどできていた。</p> <p>4の達成状況:みんなの想いを集約し「有明海恵み丼」が完成</p> <p>5の達成状況:「有明海恵み丼」を通して子どもたちの想いが作りて、購入者に伝わっていた。</p> <p>事業実施によって得られた成果: 有明海含む海に関することを学び、何が自分たちにできるかという自分事化できるきっかけづくりを与えられた。また、すべてではないが「有明海恵み丼」を通して、子どもたちの想いが作り手や購入者に伝わってPRできた。</p> <p>成功したこととその要因: 有明海の現状や、問題点などを学んで海鮮丼づくりということで、子どもたちも学んだことを生かして工夫したアイデア丼を作っていたこと。期待以上にスムーズに子どもたちができていた。先生、スタッフなど大人がこまめに学びを生かしてなどアドバイスできていたことで子どもたちも常にそれを意識できていた。</p> <p>失敗したこととその要因: 参加者が目標に到達しなかった。参加者については20人達したことで締めきったため、当日キャンセルのことなどを考えて2、3人は多めに募集を受け付けるべきであった。</p> <p>活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案: 台風などもあり変更せざるを得ない状況になってしまったが、そもそも時期が遅いのが根本の問題。事務局含めた準備不足が露呈してしまったのでここに関して来年度は夏休みの時期に実施するように努める。 来年は1泊2日でのイベントにして、より理解度などを深められるようなイベントにできるよう早めの準備、告知などを実施する。</p> |

7-(4) メディア露出状況

自社媒体

- ・募集告知CM 2019年9月10日～9月20日128本
- ・募集告知CM 2019年10月10日～10月20日 117本
9月分が延期となったため10月に再実施



- ・海応援動画「海と日本PROJECT in 佐賀」2019年12月26日(木)



他媒体

なし

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

8.その他の放送実績

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

8-(1) その他の放送実績リスト

| ID | 放送日時 | 放送内容 | 放送尺 (秒) |
|---------|------------------------|-----------------|------------|
| 佐賀県-D01 | 2019/06/03 16:20～16:50 | 日本財団×コカ・コーラ記者発表 | 60秒 |
| 佐賀県-D02 | 2019/06/14 15:50～16:20 | 海ごみゼロウィークキックオフ | 65秒 |
| 佐賀県-D03 | 2019/07/15 17:12～17:20 | 海に関する意識調査 | 69秒 |
| 佐賀県-D04 | 2019/10/07 16:20～16:50 | 海底探査技術国際コンペ報告会 | 60秒 |
| 佐賀県-D05 | 2019/08/10 17:45～18:00 | スポGOMI甲子園予選 | 75秒 |
| 佐賀県-D06 | 2019/12/13 15:50～16:20 | うみぼす2019表彰式 | 30秒 |

8-(2) その他の放送実績詳細

| | |
|--------|--|
| ID | 佐賀県-D01 |
| 放送日時 | 6月3日(月曜日) 16:20~16:50 |
| 番組名 | かちかちPress |
| 放送内容 | <p>日本財団と日本コカ・コーラ株式会社は先月、「陸域から川への廃棄物流出メカニズムの共同調査」を始めると発表しました。</p> <p>これは、日本国内におけるプラスチック資源の適切な回収と循環利用の促進への貢献を目的とした国内初の大規模調査です。</p> <p>この調査は海洋ごみの流出のメカニズムを明らかにするために実施され、全国8カ所で陸から河川に流出した廃棄物、約240キロメートルにわたり調査します。</p> <p>調査に関しては、ドローンやデジタルカメラで撮影したものをAI技術を活用し分析するという事です。</p> <p>日本財団の笹川会長は「さまざまなステークホルダーと連携して、海洋ごみ問題に取り組んでいく」としています。</p> <p>調査結果は2019年いっぱいをめどにまとめられます。</p> |
| 放送尺(秒) | 60秒 |



8-(2) その他の放送実績詳細

| | |
|--------|---|
| ID | 佐賀県-D02 |
| 放送日時 | 6月14日(金曜日) 15:50~16:20 |
| 番組名 | かちかちPress |
| 放送内容 | <p>海のプラスチックごみなど海洋ごみ削減に向け、全国一斉ごみ拾い活動「海ごみゼロウィーク」が先月30日から今月8日まで行われました。</p> <p>ごみゼロの語呂合わせ、5月30日に神奈川県で行われたキックオフイベントには、日本財団の尾形理事長や原田環境大臣のほか、地元の観光大使を務めるタレントのつるの剛士さんなど、約400人で一斉清掃をしました。</p> <p>小さい子どもたちも参加して海岸に流れ着いたプラスチックごみなどを拾っていました。</p> <p>つるの剛士さんは「ごみは川を伝って、海にやってくる。内陸部でごみを捨てないよう、意識を高めてほしい」と話していました。</p> <p>今年の海ごみゼロウィークでは、県内含め全国の海岸など約1300カ所で実施されました。</p> |
| 放送尺(秒) | 65秒 |



8-(2) その他の放送実績詳細

| | |
|--------|--|
| ID | 佐賀県-D03 |
| 放送日時 | 7月15日(月曜日) 17:12~17:20 |
| 番組名 | かちかちPress |
| 放送内容 | <p>きょう「海の日」に合わせて、日本財団が「海と日本人に関する」意識調査の結果を発表しました。</p> <p>日本財団が行った調査は全都道府県15歳から69歳の男女 およそ1万人を対象に、日本人の海に対する意識や行動を明らかにしようといわれ行われました。「海に行きたい」と答えた人は全体の73パーセントで、「小学生の頃の楽しい思い出を持っている」が86パーセントだったことから、海に行きたいという気持ちが子供の頃の体験と関係していることが分かりました。</p> <p>その一方で、子供をもつ親の75パーセントが自分の子供を海に連れて行くなどの体験を「十分に提供できていない」「全く提供できなかった」と回答していて、子供と海で過ごす時間が少ないことも分かりました。</p> <p>調査を行った日本財団は、親子で海について楽しく学べる体験を提供していきたいとしています。</p> |
| 放送尺(秒) | 69秒 |



8-(2) その他の放送実績詳細

| | |
|--------|--|
| ID | 佐賀県-D04 |
| 放送日時 | 10月7日(月曜日) 16:20~16:50 |
| 番組名 | かちかちPress |
| 放送内容 | <p>全国で海と日本プロジェクトを展開している日本財団からのお知らせです。</p> <p>人材育成事業の卒業生を中心に構成された国際チームが、海底探査技術を競う国際コンペティションで優勝し、先月18日に都内で報告会が開かれました。報告会には優勝した13カ国から構成されたチームのメンバーが参加しました。去年11月にギリシャで行われた大会で、水深4000メートルの深海をより早く、広く、さらに無人で高解像度でな測量をした技術が評価されました。たとのことです。</p> <p>日本財団では、2004年から国際組織、「大洋水深総図」と協同で海底地形図作成の専門家の育成をしていて今回のメンバーはその卒業生らです。今大会の優勝賞金は2030年までに海底地形図の100%完成を目指す国際プロジェクトの目標達成の促進のために使用される予定です。</p> |
| 放送尺(秒) | 60秒 |



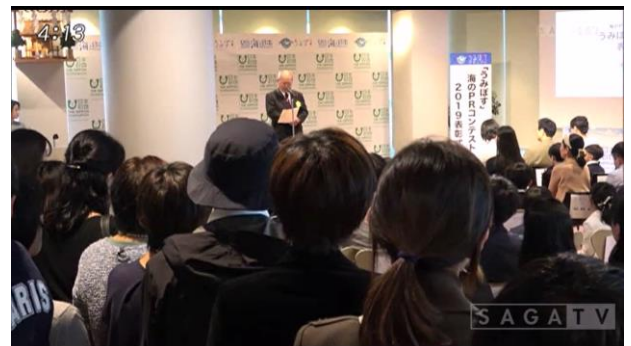
8-(2) その他の放送実績詳細

| | |
|--------|--|
| ID | 佐賀県-D05 |
| 放送日時 | 8月10日(土曜日) 17:45~18:00 |
| 番組名 | かちかちPress |
| 放送内容 | <p>全国25都道府県の高校生がごみ拾いを競い合う「スポGOMI甲子園」の県予選が唐津市で開かれました。</p> <p>「優勝目指します」「勝つぞー」 「スポGOMI甲子園」はごみ拾いを競い合うことで海洋ごみ問題について考えてもらおうと、日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環として開かれたものです。</p> <p>きょうの県予選には、24人が参加し、3人一組で60分間、海水浴場や虹の松原一帯のごみを拾い、質と量を競いました。参加者は炎天下のなか汗を流しながら、日本発祥の地球に優しいスポーツに打ち込んでいました。</p> <p>「めっちゃ集まっている／燃えるごみが多く集まっている」 「運転する人がポイって捨ててるからペットボトルが多いかなと思ったけど案外少なかった」</p> <p>優勝チームは今年9月に東京で開かれる 全国大会に県代表として出場する予定です。</p> |
| 放送尺(秒) | 75秒 |



8-(2) その他の放送実績詳細

| | |
|--------|---|
| ID | 佐賀県-D06 |
| 放送日時 | 12月13日(金曜日) 15:50~16:20 |
| 番組名 | かちかちPress |
| 放送内容 | <p>日本財団の旗振りのもと、オールジャパンで推進している海と日本プロジェクトの助成事業「うみぼすグランプリ」の表彰式が東京都内で行われました。</p> <p>ポスター部門など5つの部門に、3,914作品の応募があり、「動くポスター部門」で、唐津の海をステージにした向一博さんが準グランプリを受賞。</p> <p>受賞作品は、【うみぼす 受賞作品】をご覧ください</p> |
| 放送尺(秒) | 30秒 |



事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

8a.その他のCM制作・放送

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

8a-(1) その他のCMリスト

| ID | 放送期間 | タイトル | 放送回数 | 尺(秒) |
|---------|----------------------|-----------------|------|------|
| 佐賀県-E01 | 2019/9/1~2019/9/05 | さばける塾参加者募集 | 60回 | 15秒 |
| 佐賀県-E02 | 2019/9/10~2019/9/20 | 「まえうみ」探検隊参加者募集 | 128回 | 15秒 |
| 佐賀県-E03 | 2019/10/1~2019/10/10 | 「まえうみ」探検隊参加者再募集 | 117回 | 15秒 |

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

8a-(2) その他のCM詳細

| | |
|--------|-------------------------------|
| ID | 佐賀県-E01 |
| タイトル | さばける塾参加者募集 |
| 放送時期 | 2019年9月1日(日曜日)～2019年9月5日(木曜日) |
| 放送回数 | 60回 |
| 放送尺(秒) | 15秒 |



親子で
イカ料理にチャレンジ!
「海と日本 さばける塾」
参加者大募集!



親子で体験!
さばける塾 in 佐賀
親子でイカ料理にチャレンジ!

親子のペア 10組様
(子どもは小学生以下の方)

イカを包丁でさばいておめかしや刺身等に調理し、みんなでいただきます。

協力校: 佐賀調理製菓専門学校
海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

TEL: 0952-22-2001 (受付: 9:30～17:30)
FAX: 0952-22-2002

先着順です。
定員に達し次第締め切ります

9月14日土曜午後
ご覧の内容で開催いたします。
参加費は無料!



お問合せお申込みは
佐賀調理製菓専門学校まで。

参加無料

親子で体験!
さばける塾 in 佐賀
親子でイカ料理にチャレンジ!

開催日: 令和元年 9月14日土
時間: 14時～17時(予定)
会場: 佐賀調理製菓専門学校



♪共通サウンドロゴ

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

8a-(2) その他のCM詳細

| | |
|--------|---------------------------------|
| ID | 佐賀県-E02 |
| タイトル | 「まえうみ」探検隊参加者募集 |
| 放送時期 | 2019年9月10日(火曜日)～2019年9月20日(木曜日) |
| 放送回数 | 128回 |
| 放送尺(秒) | 15秒 |



海と日本プロジェクト
「まえうみ」探検隊メンバー募集中！



今月21日、22日の2日間
干潟体験などを通して
有明海のことを学ぼう！



最後はオリジナル海鮮丼を作るよ！
みんな集まれ～！！



♪共通サウンドロゴ

事業ID:2018491917

事業名:海と日本プロジェクトin佐賀県

団体名:海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

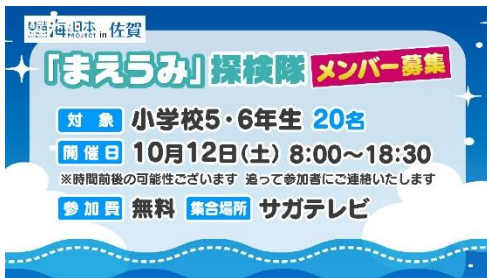
極秘

8a-(2) その他のCM詳細

| | |
|--------|----------------------------------|
| ID | 佐賀県-E03 |
| タイトル | 「まえうみ」探検隊参加者再募集 |
| 放送時期 | 2019年10月1日(火曜日)～2019年10月10日(木曜日) |
| 放送回数 | 117回 |
| 放送尺(秒) | 15秒 |



海と日本プロジェクト
「まえうみ」探検隊メンバー募集中!



今月12日、
有明海のことを学んで
最後はオリジナル海鮮丼を作ろう!



みんな集まれ～!!



♪共通サウンドロゴ